

令和5年度
葛飾区区民モニターアンケート調査
報告書

◆第1回 ウェブモニター◆

- 「広報かつしかについて」—
- 「公共施設の利用について」—
- 「かつしか郷土かるたについて」—

令和5年8月



目 次

<u>I 調査概要</u>	1
<u>1. 調査の目的</u>	1
<u>2. 調査のテーマ</u>	1
<u>3. 調査の設計</u>	1
<u>4. 調査機関</u>	1
<u>5. 報告書の表記について</u>	1
<u>II 回答者の属性</u>	2
<u>III 調査結果の詳細</u>	6
<u>1. 広報かつしかについて</u>	6
<u>2. 公共施設の利用について</u>	31
<u>3. かつしか郷土かるたについて</u>	49

I 調査概要

1. 調査の目的

区が実施している施策や区が発信している情報等について、無作為に選定した方から公募により決定した「区民モニター」から、適時かつ具体的なご意見を収集することにより、区政への活用を図るもの。

2. 調査のテーマ

- (1) 広報かつしかについて
- (2) 公共施設の利用について
- (3) かつしか郷土かるたについて

3. 調査の設計

- | | |
|-----------|--|
| (1) 調査対象 | 無作為で選定した18歳以上の区民4,000人から公募により決定したウェブモニター500名 |
| (2) 調査方法 | インターネットでの回答 |
| (3) 調査期間 | 令和5年7月13日(木)～8月4日(金) |
| (4) 有効回収数 | 444名 |

4. 調査機関

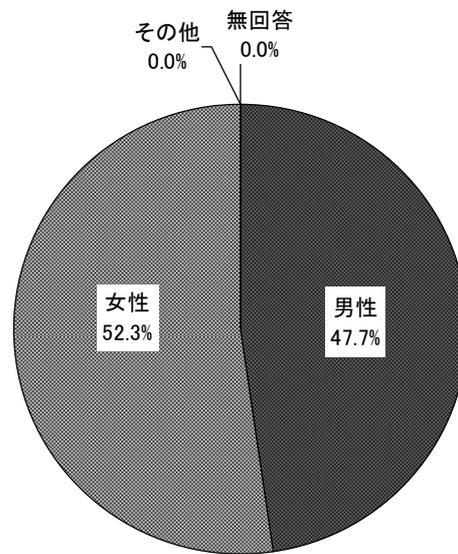
株式会社都市計画21

5. 報告書の表記について

- (1) 比率は全て百分率で表記し、小数点以下第2位を四捨五入して算出している。そのため、四捨五入によって生じる誤差により、百分率の合計が100%にならない場合がある。
- (2) “n”は各設問の回答数を示している。比率はnを母数として、算出している。
- (3) 複数回答の設問では、1人が複数の回答を選択可能なため、各選択肢における回答数の合計が100%を超過している。
- (4) 年齢層・年代別の20歳代には、18歳・19歳を含んでいる。

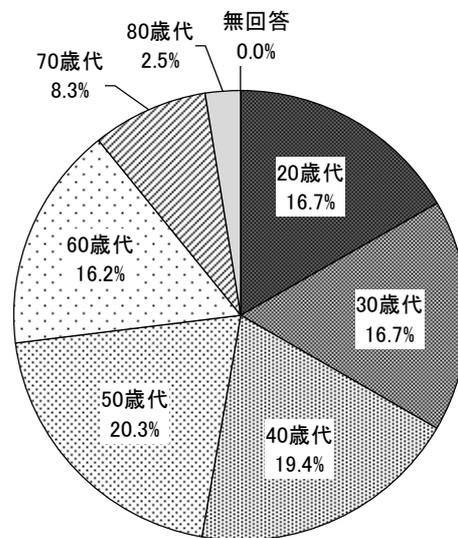
II 回答者の属性

(1) 性別



n=444

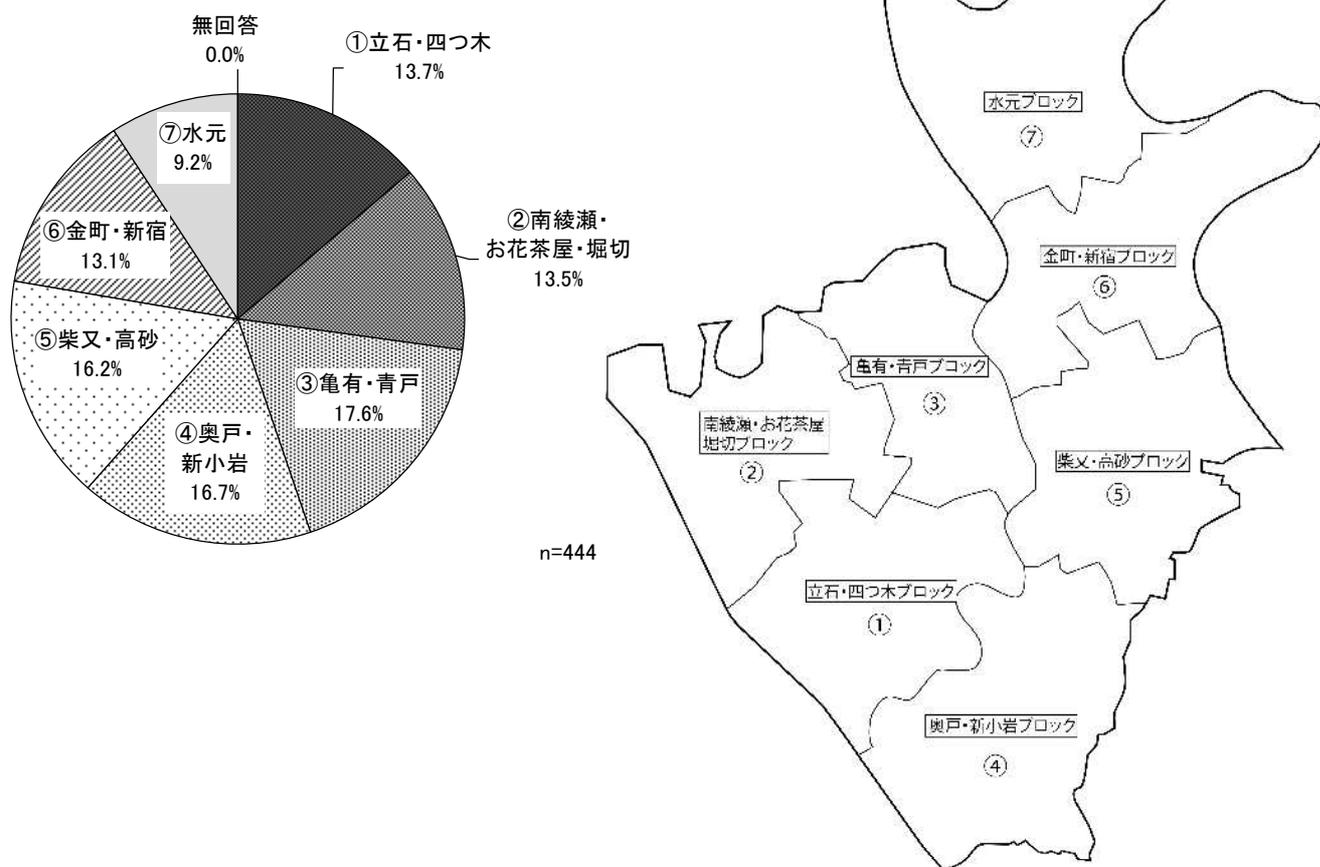
(2) 年齢層



n=444

(3) 居住地域 (7区分)

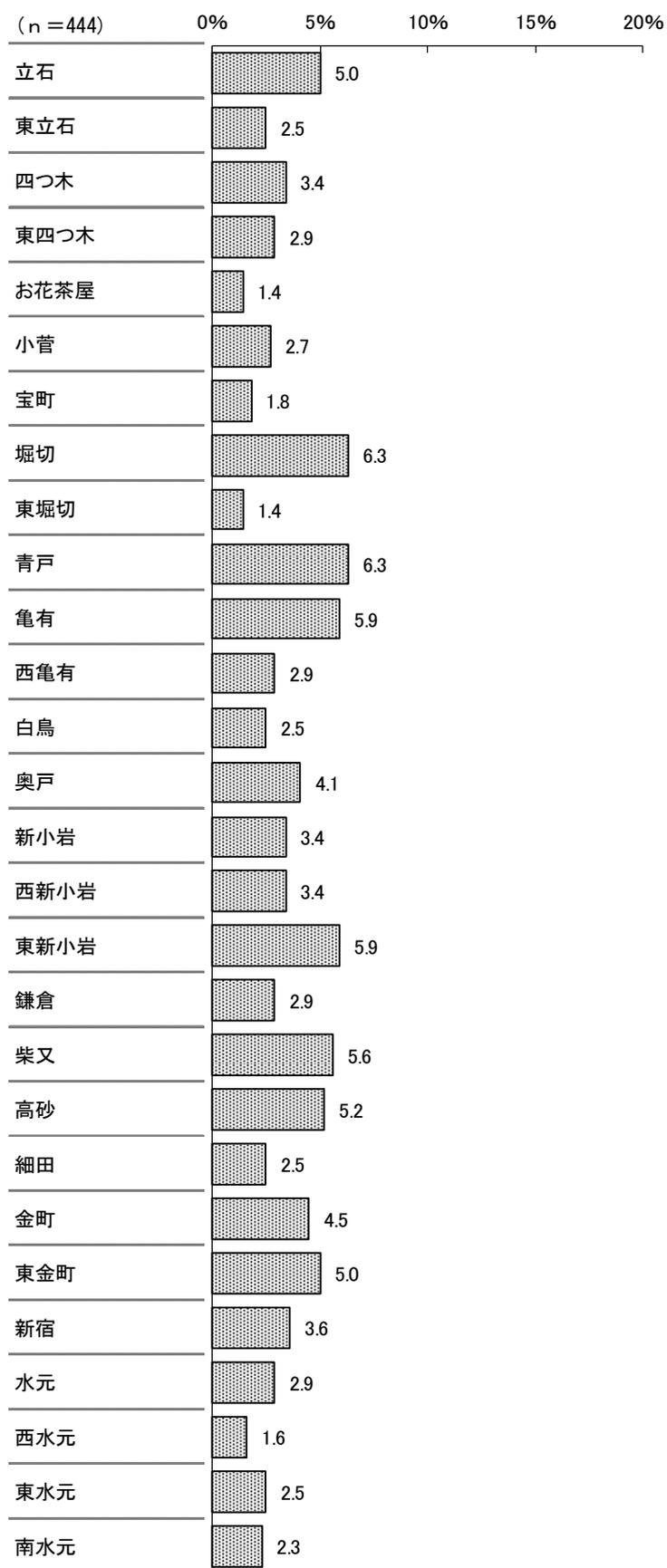
〔居住地域区分図〕



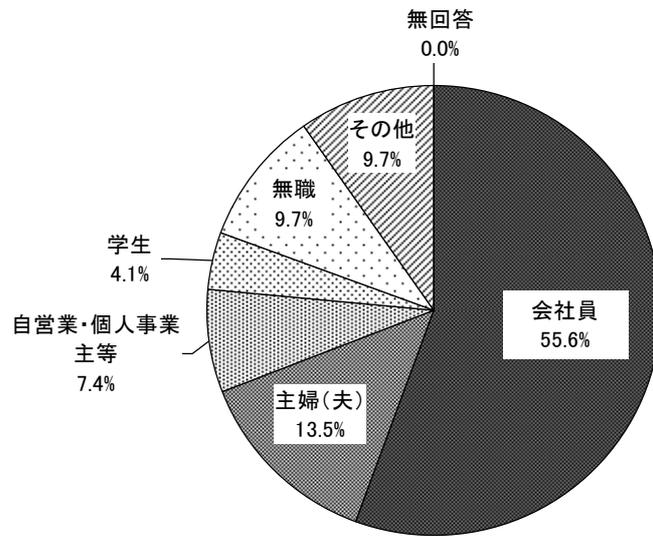
〔居住地域区分表〕

	ブロック名	町名
1	立石・四つ木ブロック	立石・東立石・四つ木・東四つ木
2	南綾瀬・お花茶屋・堀切ブロック	お花茶屋・小菅・宝町・堀切・東堀切
3	亀有・青戸ブロック	青戸・亀有・西亀有・白鳥
4	奥戸・新小岩ブロック	奥戸・新小岩・西新小岩・東新小岩
5	柴又・高砂ブロック	鎌倉・柴又・高砂・細田
6	金町・新宿ブロック	金町・東金町・新宿
7	水元ブロック	水元・西水元・東水元・南水元

(4) 居住地域 (28区分)



(5) 職業



n=444

(6) 居住地域別 (7区分) × 性別・年代別

(%)

		立石・四つ木	南綾瀬・お花茶屋・堀切	亀有・青戸	奥戸・新小岩	柴又・高砂	金町・新宿	水元	無回答
n									
全	体 (444)	13.7	13.5	17.6	16.7	16.2	13.1	9.2	
性別	男性 (212)	13.2	13.2	14.6	17.0	17.0	14.6	10.4	
	女性 (232)	14.2	13.8	20.3	16.4	15.5	11.6	8.2	
年代別	20 歳代 (74)	14.9	16.2	17.6	23.0	13.5	8.1	6.8	
	30 歳代 (74)	13.5	10.8	21.6	12.2	20.3	12.2	9.5	
	40 歳代 (86)	14.0	10.5	20.9	16.3	16.3	9.3	12.8	
	50 歳代 (90)	10.0	14.4	15.6	20.0	17.8	10.0	12.2	
	60 歳代 (72)	13.9	13.9	13.9	12.5	15.3	22.2	8.3	
	70 歳代 (37)	21.6	16.2	18.9	10.8	8.1	21.6	2.7	
	80 歳代 (11)	9.1	18.2	27.3	27.3	18.2			

Ⅲ 調査結果の詳細

1. 広報かつしかについて

区民の皆様に区内の情報をお届けするために、月3回（5日・15日・25日）広報紙を発行し、全戸配布しています。

今後、さらに多くの方に読んでいただける紙面を作るために、区民モニターの皆様のご意見をお伺いします。

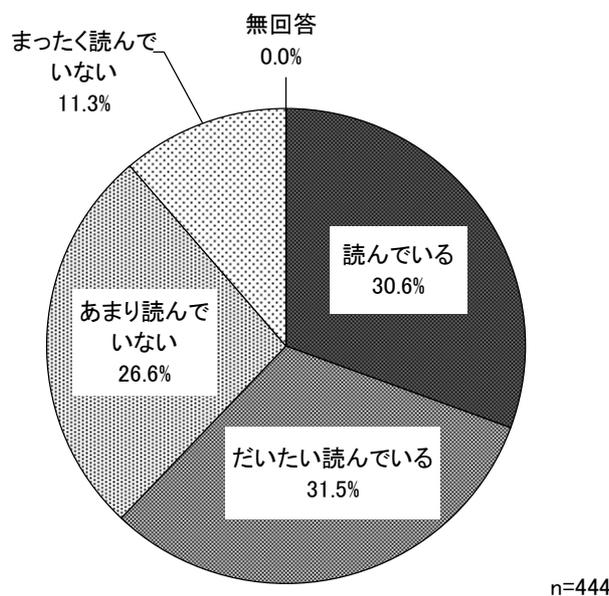
問1 あなたは、広報紙を読んでいますか？（1つ選択）

広報紙の閲読状況は、「読んでいる」と「だいたい読んでいる」を合わせた【読んでいる（計）】が62.1%、「あまり読んでいない」と「まったく読んでいない」を合わせた【読んでいない（計）】が37.9%となっている。

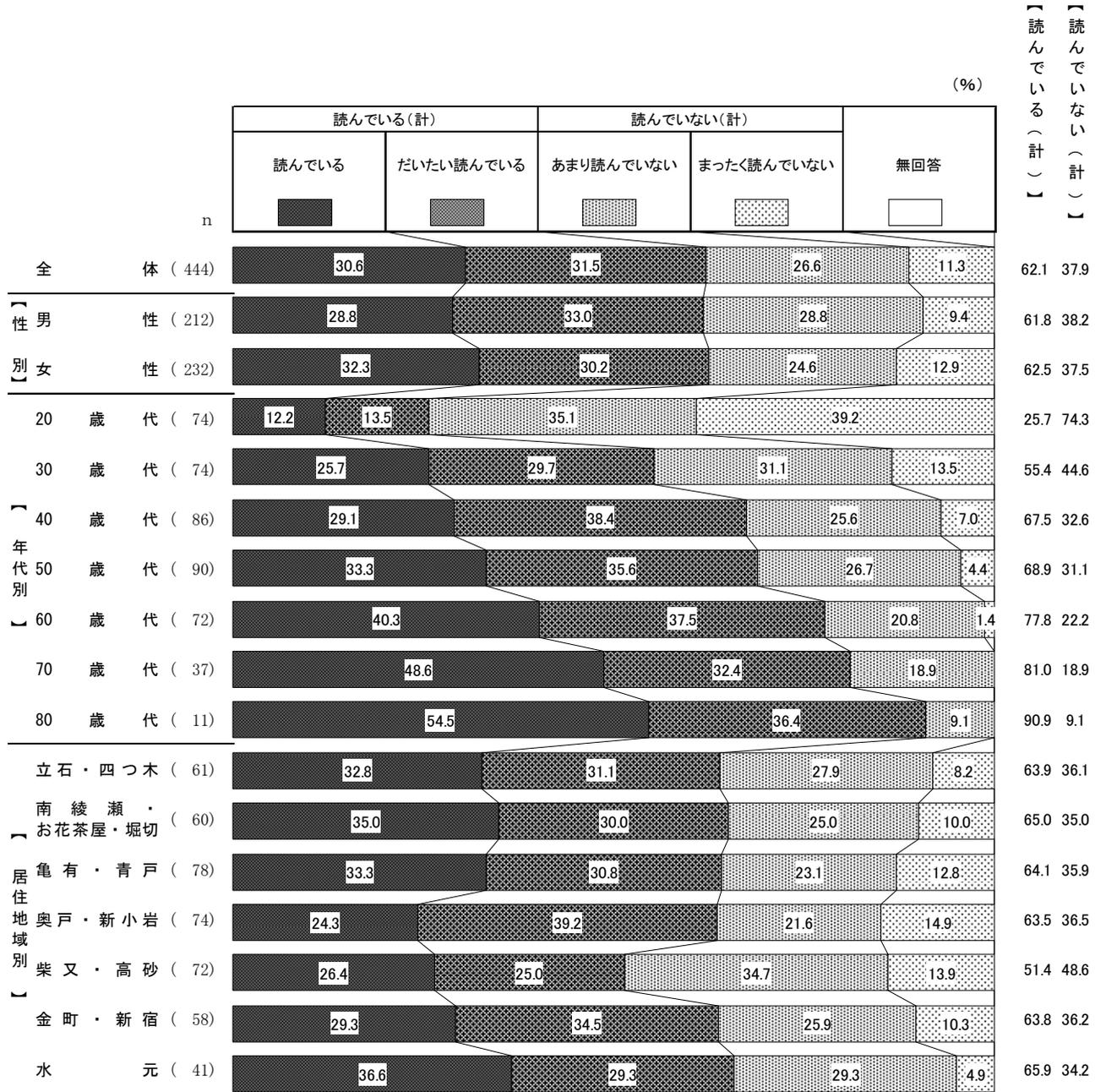
性別でみると、【読んでいる（計）】は、女性が62.5%で男性の61.8%より高くなっている。

年代別でみると、【読んでいる（計）】は、80歳代で90.9%と最も高く、次いで70歳代で81.0%となっている。一方、【読んでいない（計）】は、20歳代が74.3%で最も高く、次いで30歳代が44.6%となっている。

図表－1 広報紙の閲読状況（全体）



図表－２ 広報紙の閲読状況
(全体・性別・年代別・居住地域別)



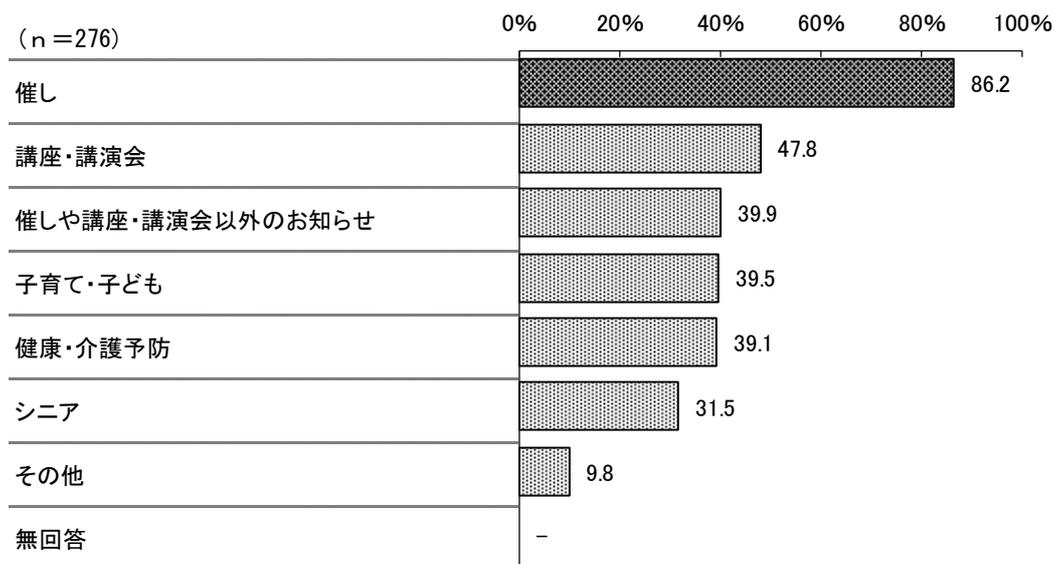
問1で「読んでいる」「だいたい読んでいる」と答えた方へお伺いします。

問2 どんな情報を得ていますか？（当てはまるものを全て選択）

広報紙から得ている情報は、「催し」が86.2%で最も高く、次いで「講座・講演会」が47.8%、「催しや講座・講演会以外のお知らせ」が39.9%となっている。

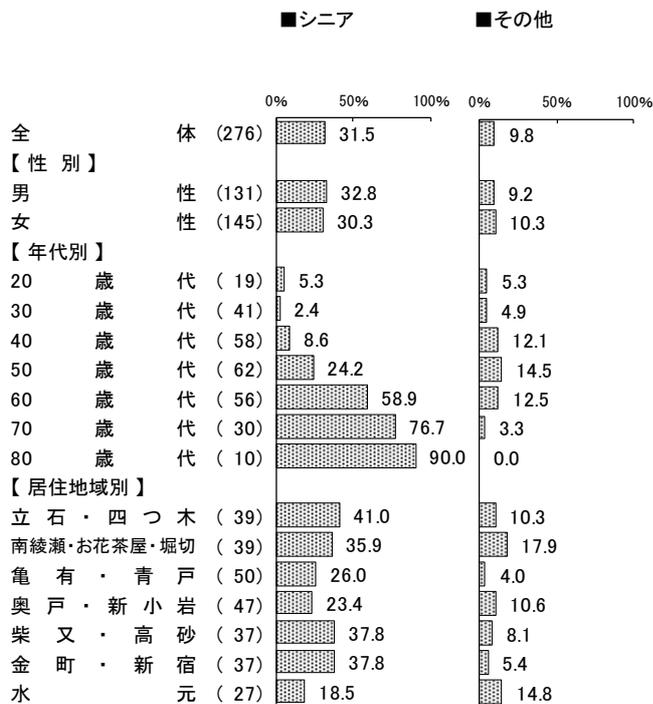
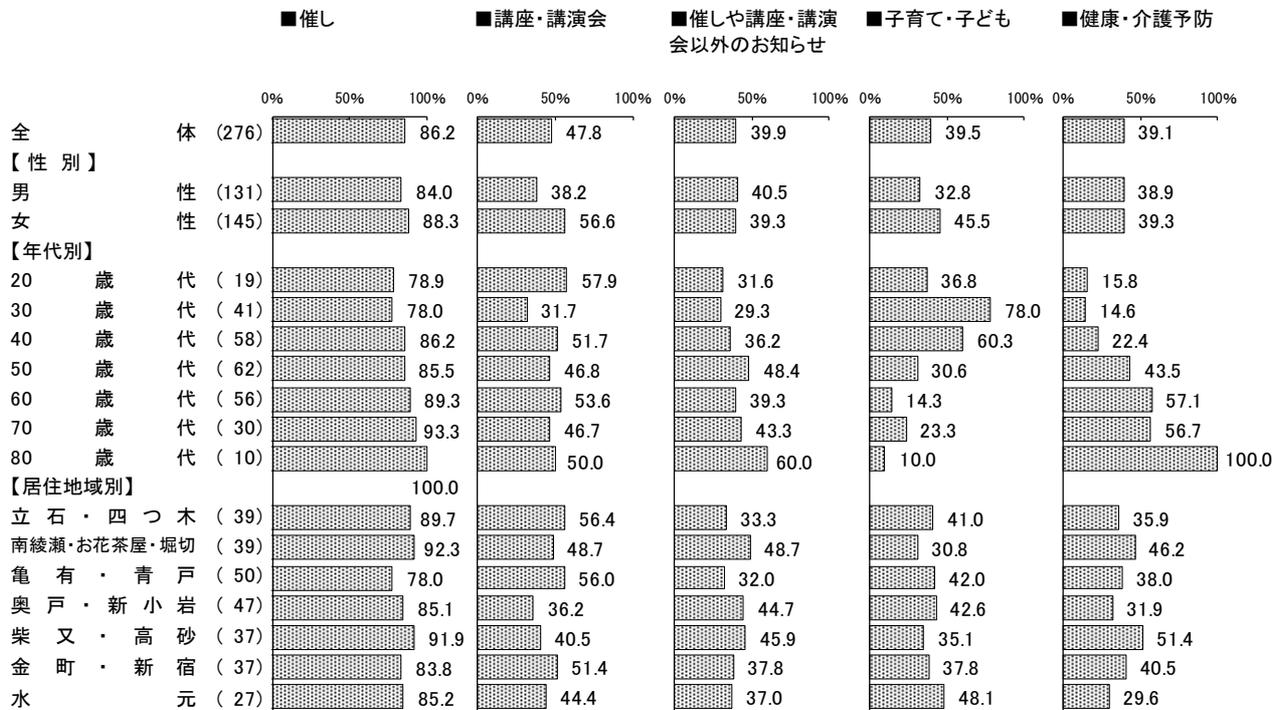
「その他」の内容としては、「求人情報」、「休日診療について」、「区政情報」などがある。

図表－3 広報紙から得ている情報（全体）



年代別でみると、「催し」は、全ての年代で7割以上となっている。「講座・講演会」は、20歳代で57.9%と高く、「子育て・子ども」は、30歳代が78.0%で最も高くなっている。

図表ー4 広報紙から得ている情報
(全体・性別・年代別・居住地域別)



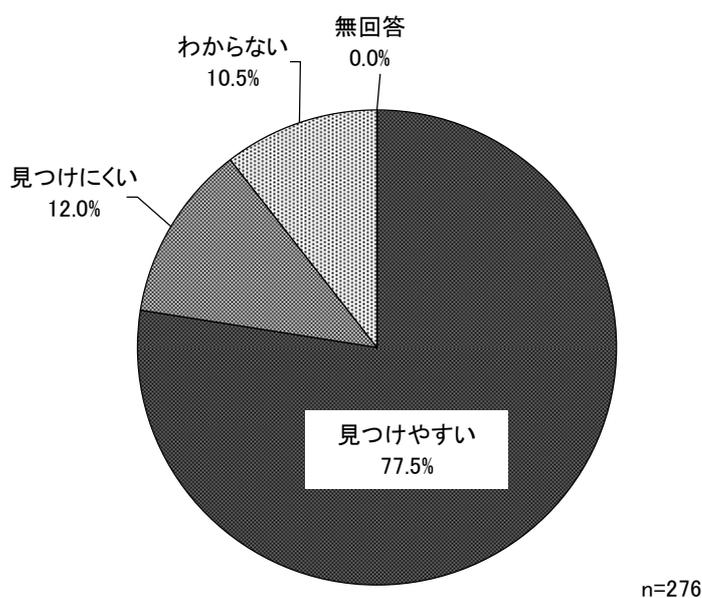
問1で「読んでいる」「だいたい読んでいる」と答えた方へお伺いします。

問3 知りたい情報は見つけやすいですか？（1つ選択）

知りたい情報が見つけやすいかについては、「見つけやすい」が77.5%で最も高く、「見つけにくい」は12.0%となっている。

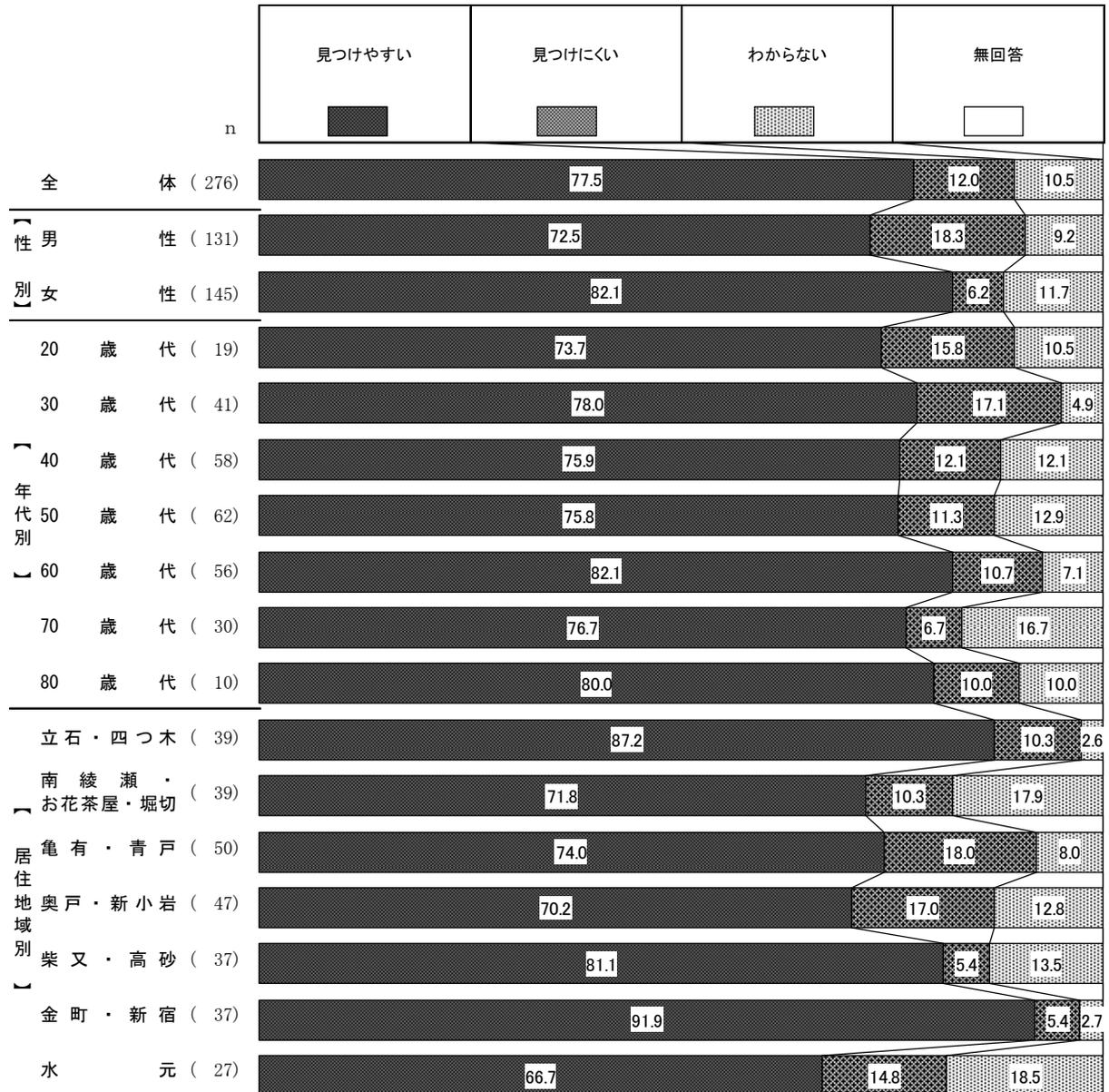
年代別でみると「見つけやすい」は、全ての年代で7割以上となっている。「見つけにくい」は、30歳代で17.1%と最も高く、次いで20歳代で15.8%となっている。

図表-5 知りたい情報の見つけやすさ（全体）



図表－6 知りたい情報の見つけやすさ
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



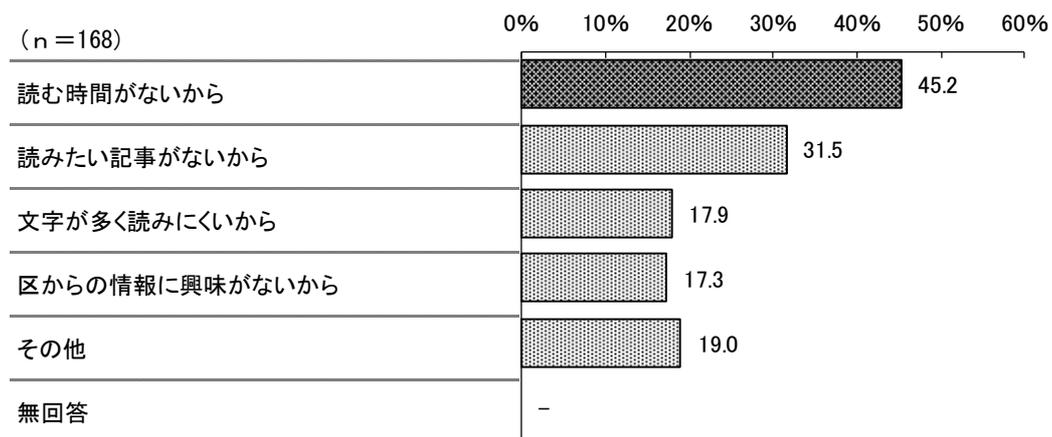
問1で「あまり読んでいない」「まったく読んでいない」と答えた方へお伺いします。

問4 読んでいない理由は何ですか？（当てはまるものを全て選択）

広報紙を読んでいない理由は、「読む時間がないから」が45.2%で最も高く、次いで「読みたい記事がないから」が31.5%、「文字が多く読みにくいから」が17.9%となっている。

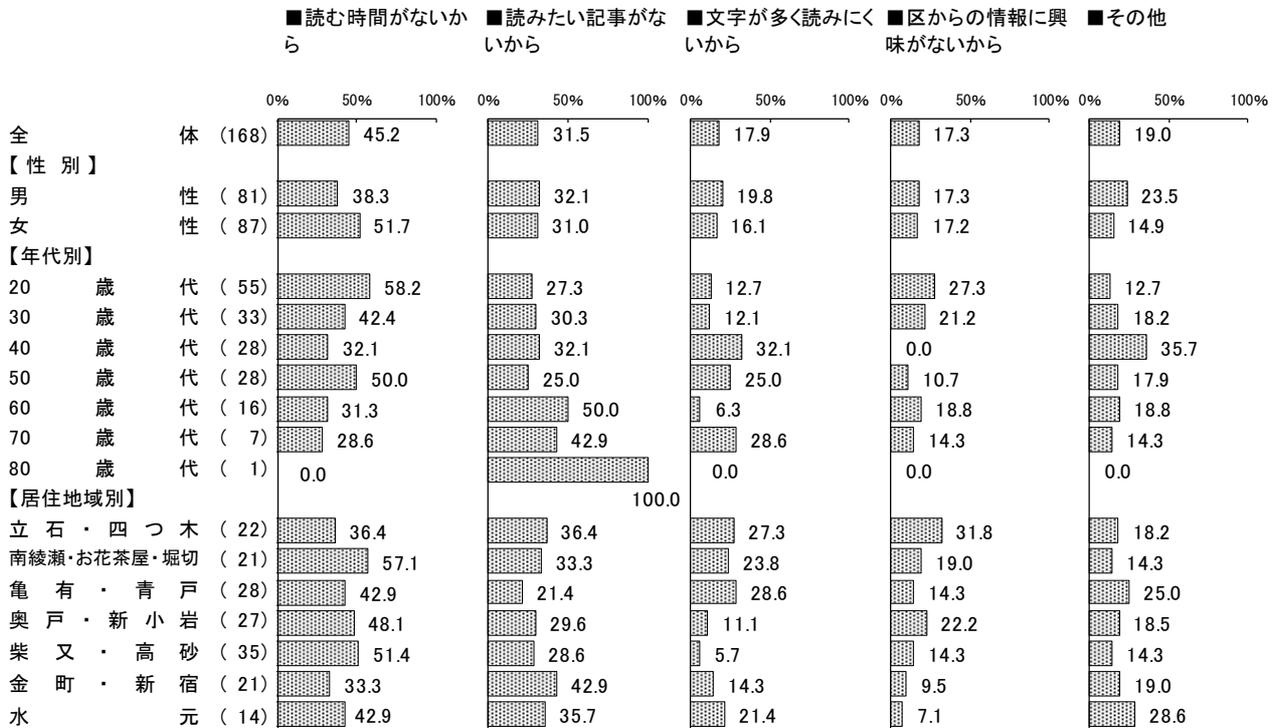
「その他」の内容としては、「あることを知らなかった」、「興味を引く内容がない」などがある。

図表－7 広報紙を読んでいない理由（全体）



年代別でみると、「読む時間がないから」は、20歳代と50歳代で5割台となっている。「文字が多く読みにくいから」は、40歳代が32.1%で最も高くなっている。

図表－8 広報紙を読んでいない理由
(全体・性別・年代別・居住地域別)



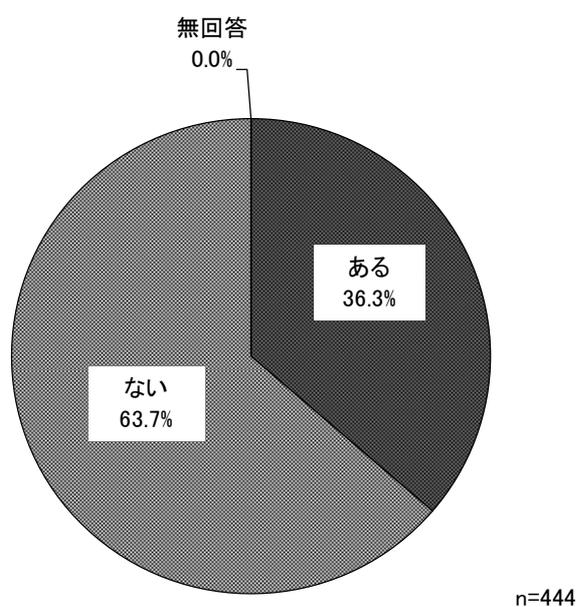
問5 あなたは、広報紙を見て、講座や検診などの申し込みをしたことがありますか？

(1つ選択)

広報紙を見て、講座や検診などの申し込みをしたことがあるかについては、36.3%の方が「ある」と回答している。一方、「ない」は63.7%で6割以上となっている。

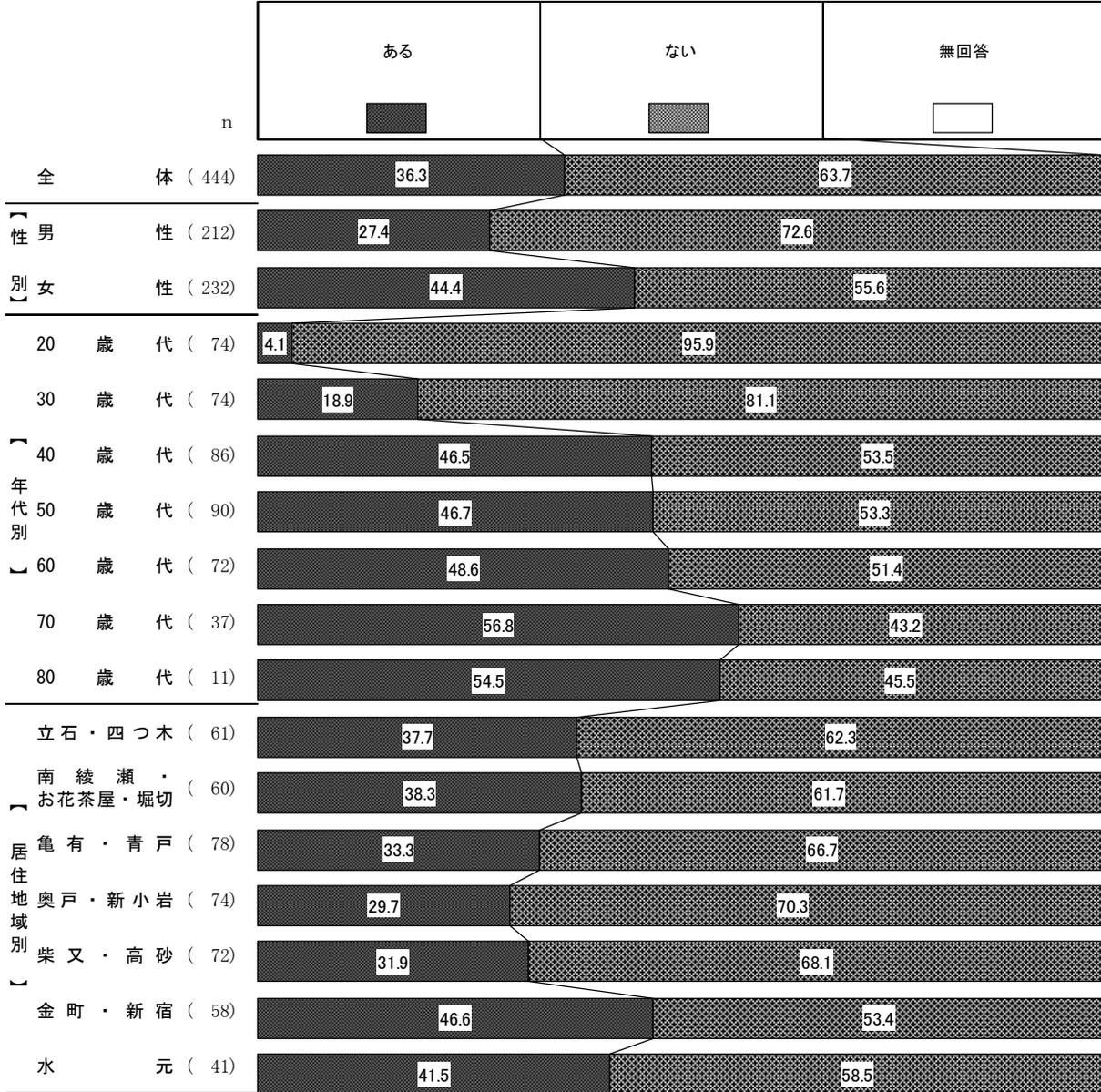
年代別でみると、「ある」は、40歳代以上の全ての年代で4割以上となっている。一方、「ない」は、20歳代と30歳代で8割以上と高くなっている。

図表-9 講座や検診などの申し込みの有無（全体）



図表-10 講座や検診などの申し込みの有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)

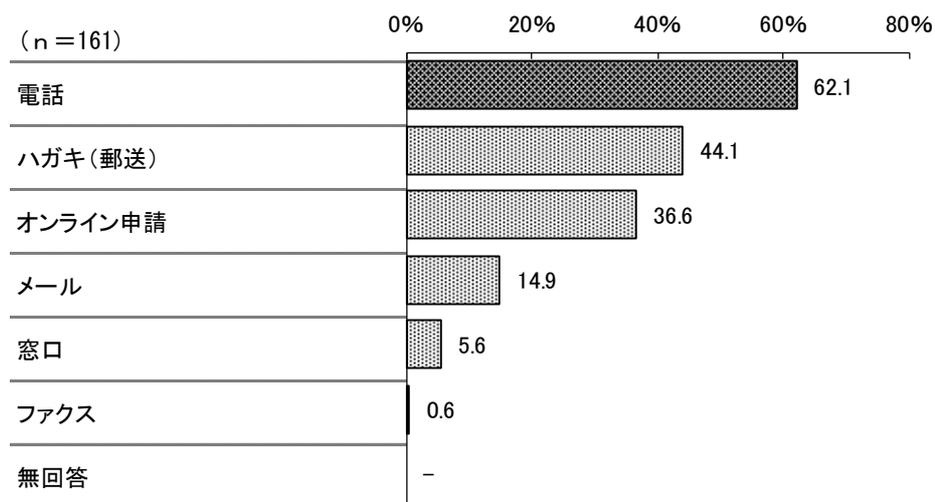


問5で「ある」と答えた方へお伺いします。

問6 どのような手段で申し込みなどをしましたか？（当てはまるものを全て選択）

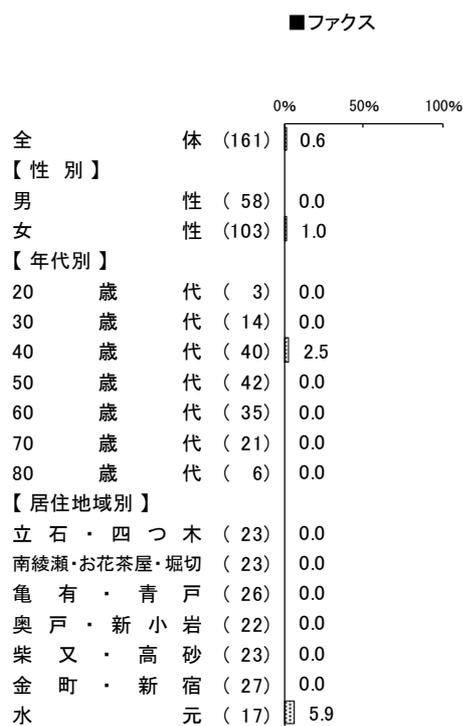
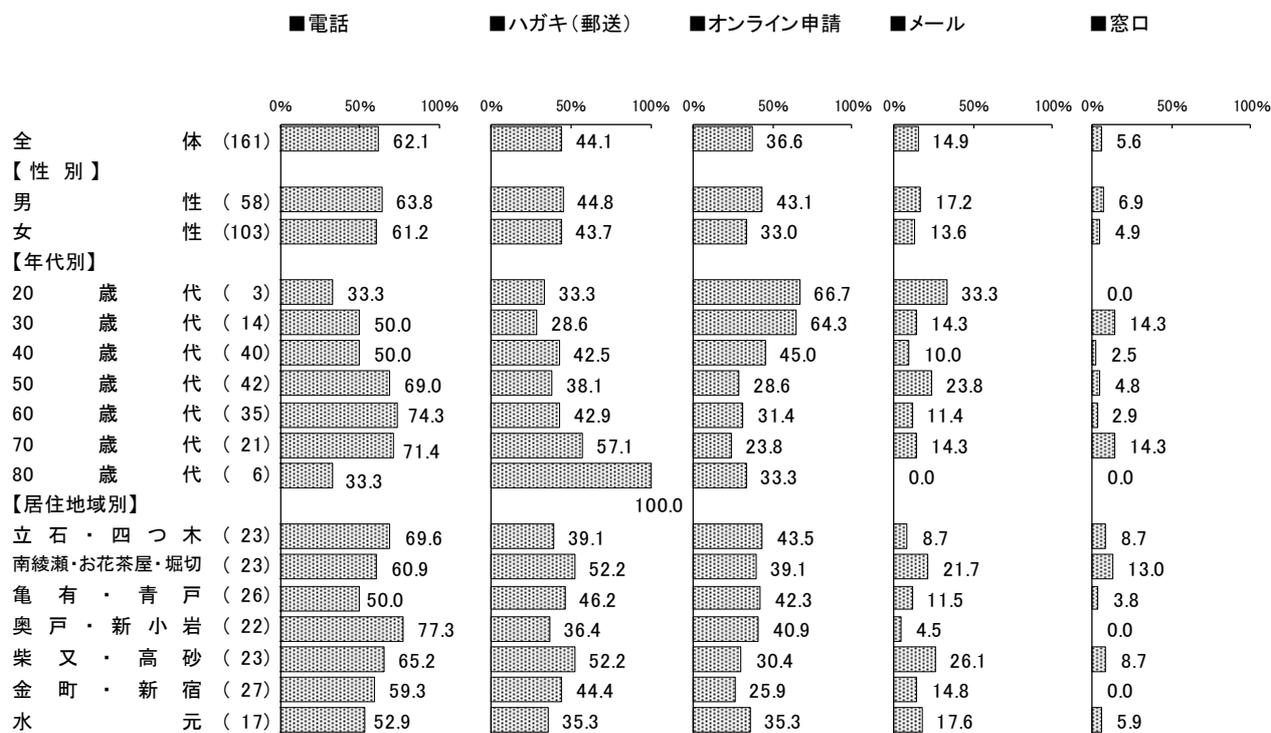
講座や検診などの申し込み手段は、「電話」が 62.1%で最も高く、次いで「ハガキ（郵送）」が 44.1%、「オンライン申請」が 36.6%となっている。

図表-11 講座や検診などの申し込み手段（全体）



年代別でみると、「電話」は、60歳代と70歳代で7割台と最も高くなっている。「オンライン申請」は、20歳代と30歳代で6割台と高くなっている。

図表-12 講座や検診などの申し込み手段
(全体・性別・年代別・居住地域別)



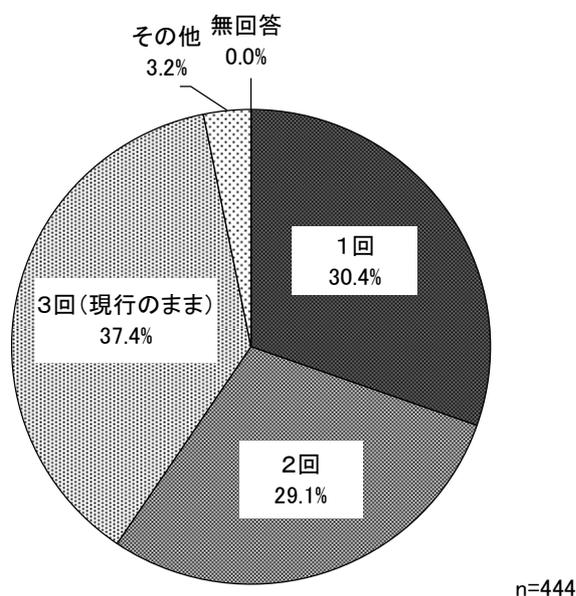
問7 広報紙は、月に何回発行するのが良いと思いますか？（1つ選択）

広報紙の月の発行回数については、「3回（現行のまま）」が37.4%で最も高く、次いで「1回」が30.4%となっている。

年代別で見ると、「3回（現行のまま）」は、80歳代で81.8%と最も高く、次いで70歳代で51.4%となっている。「1回」は、20歳代で55.4%、「2回」は、70歳代で40.5%とそれぞれ最も高くなっている。

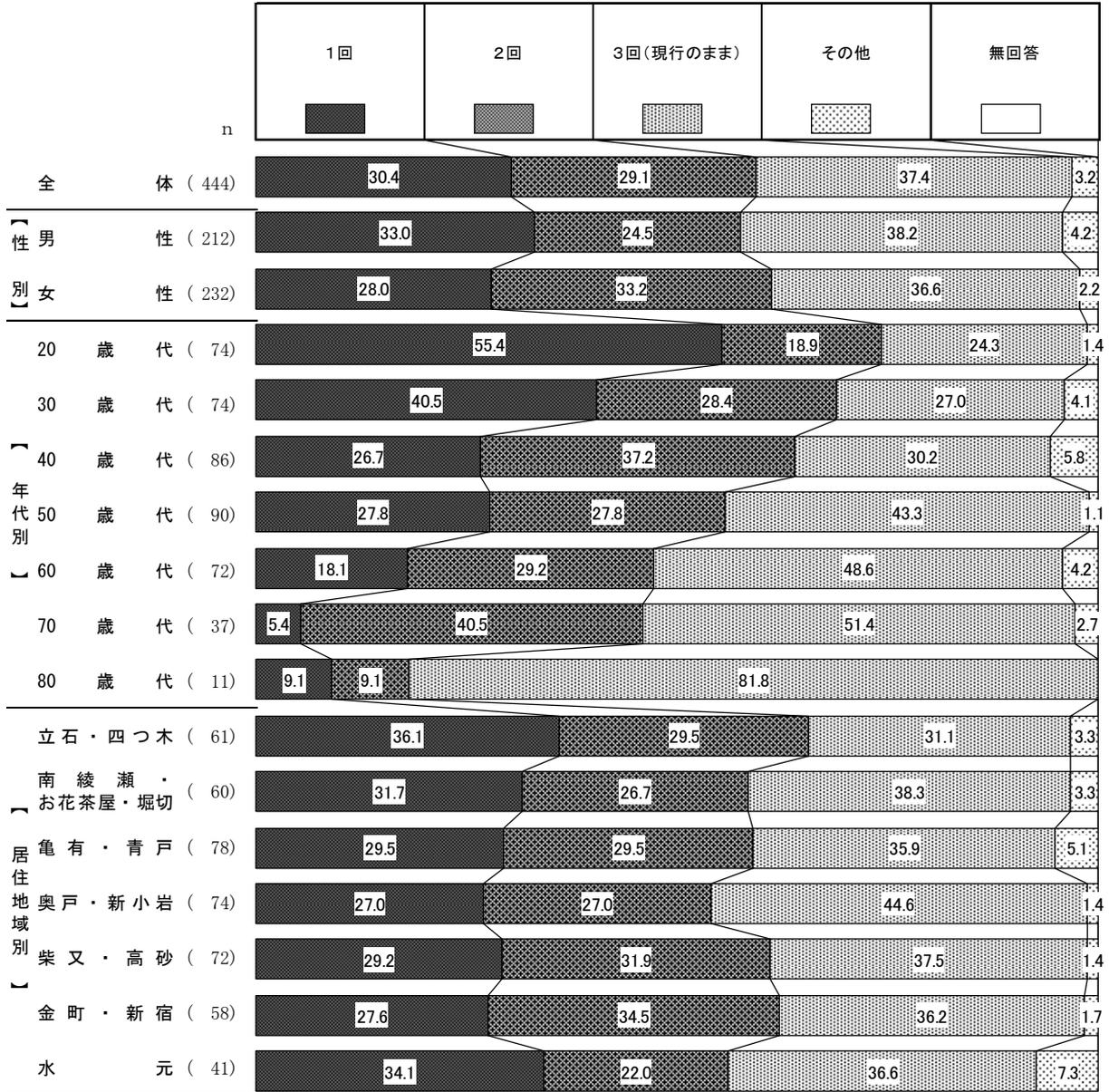
「その他」の内容としては、「毎週」、「紙からオンライン閲覧に切り替える」、「基本は月1回で必要に応じて発行する」などがある。

図表-13 広報紙の月の発行回数について（全体）



図表-14 広報紙の月の発行回数について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)

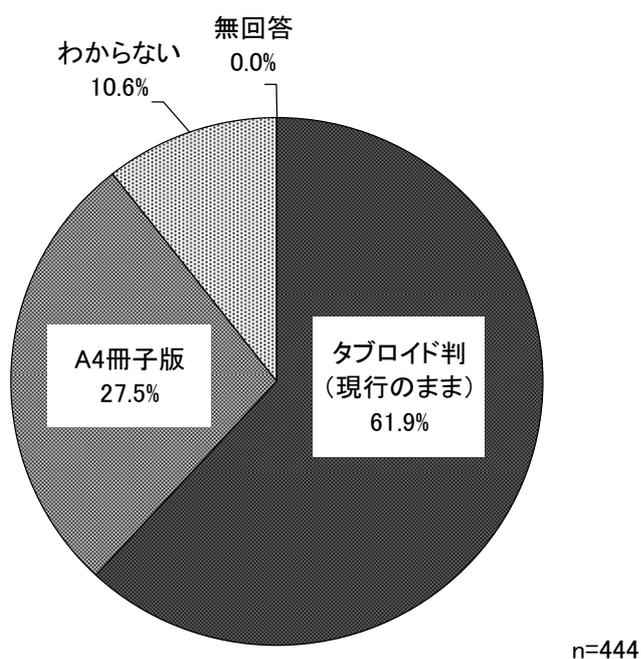


問8 用紙のサイズはタブロイド判（現行のまま）とA4冊子版のどちらが読みやすいと思いますか？（1つ選択）

広報紙の用紙のサイズについては、「タブロイド判（現行のまま）」が61.9%で6割以上を占めており、「A4冊子版」は27.5%となっている。

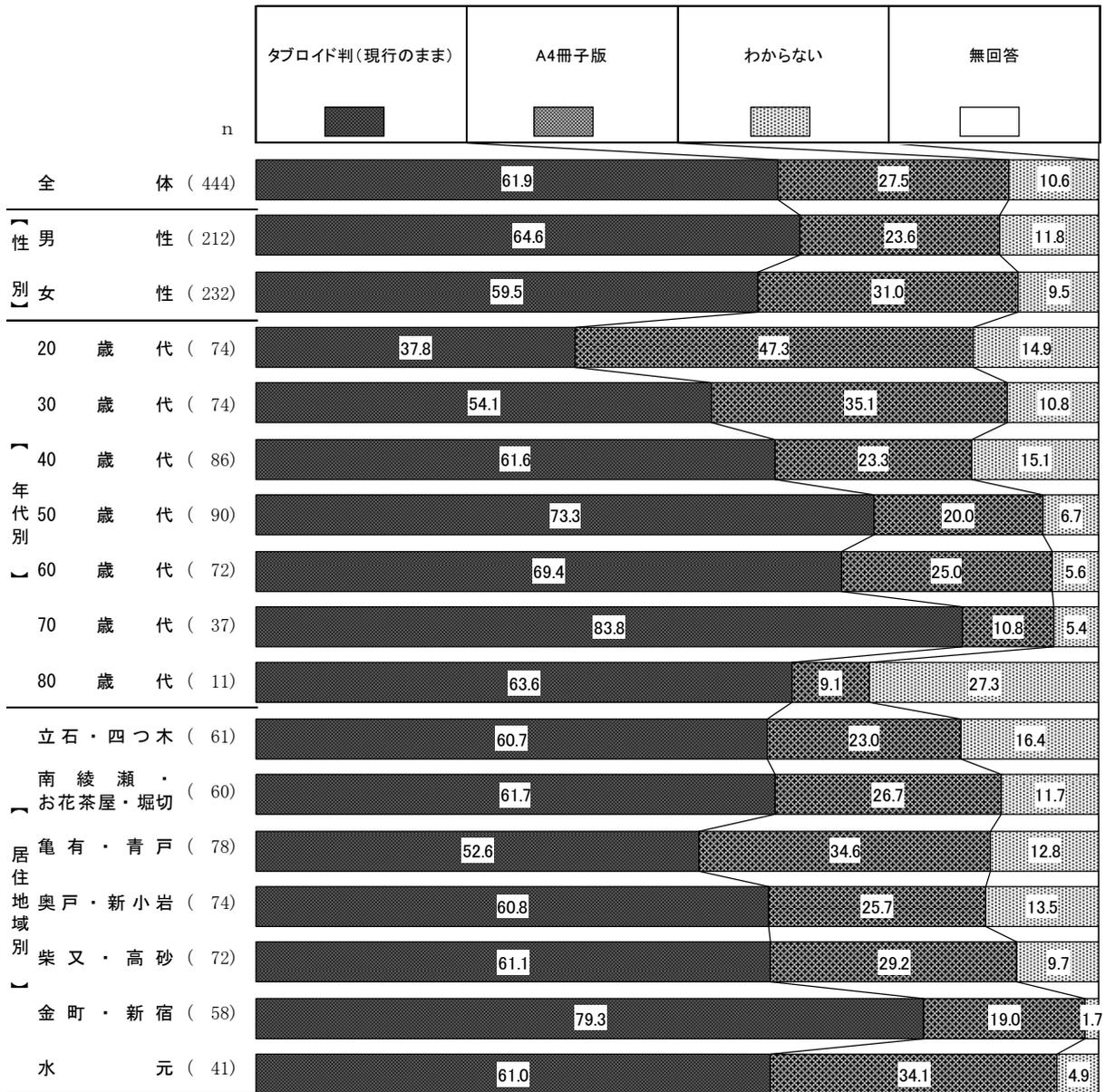
年代別でみると、「タブロイド判（現行のまま）」は、20歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。「A4冊子版」は、20歳代で47.3%と最も高く、次いで30歳代で35.1%となっている。

図表-15 広報紙の用紙サイズについて（全体）



図表-16 広報紙の用紙サイズについて
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



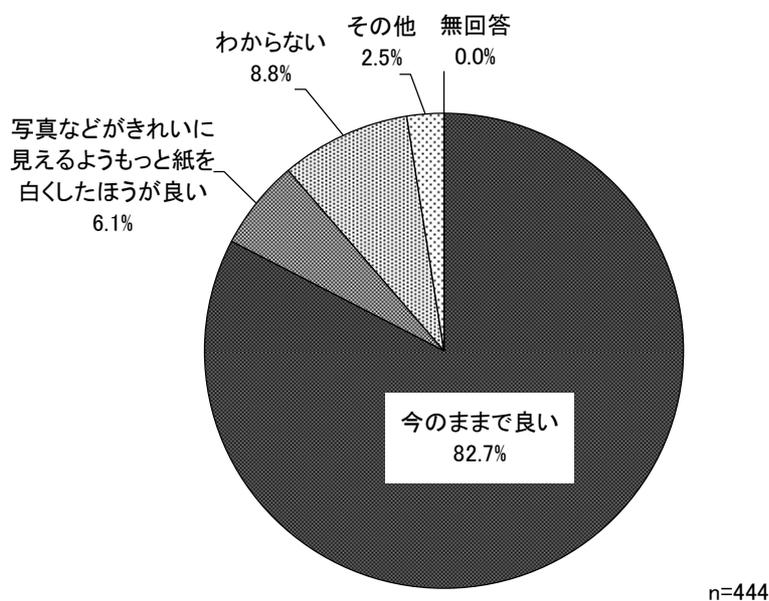
問9 現在の紙質についてどのように思いますか？（1つ選択）

広報紙の現在の紙質については、「今のままで良い」が82.7%で最も高く、「写真などがきれいに見えるようもっと紙を白くしたほうが良い」は6.1%にとどまっている。

年代別でみると、「今のままで良い」は、50歳代で92.2%と最も高く、次いで70歳代で89.2%となっている。「写真などがきれいに見えるようもっと紙を白くしたほうが良い」は、80歳代を除く全ての年代で1割以下となっている。

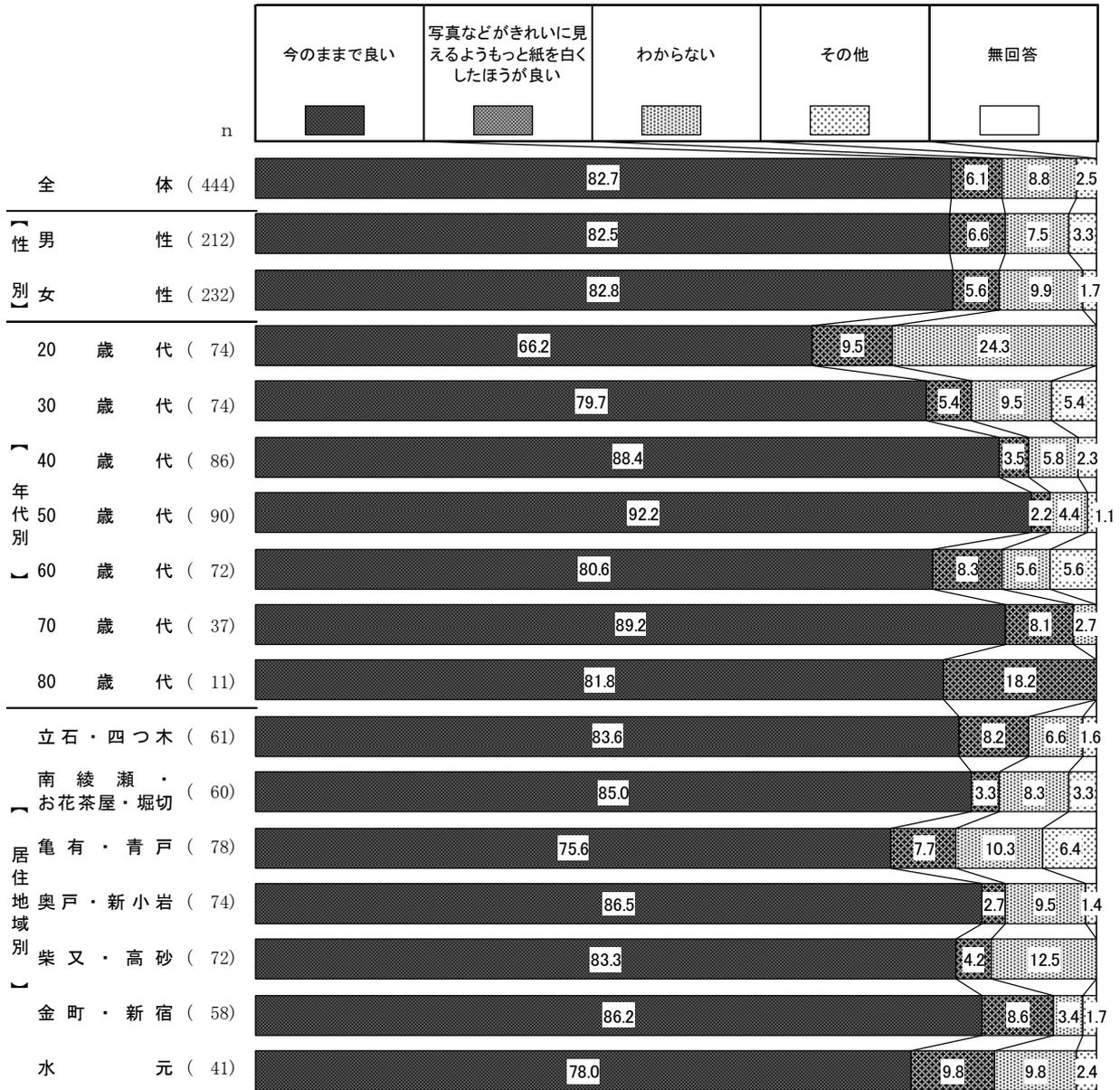
「その他」の内容としては、「環境に負担のかからないもの」、「紙は廃止し電子化する」などがある。

図表-17 広報紙の紙質について（全体）



図表-18 広報紙の紙質について
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



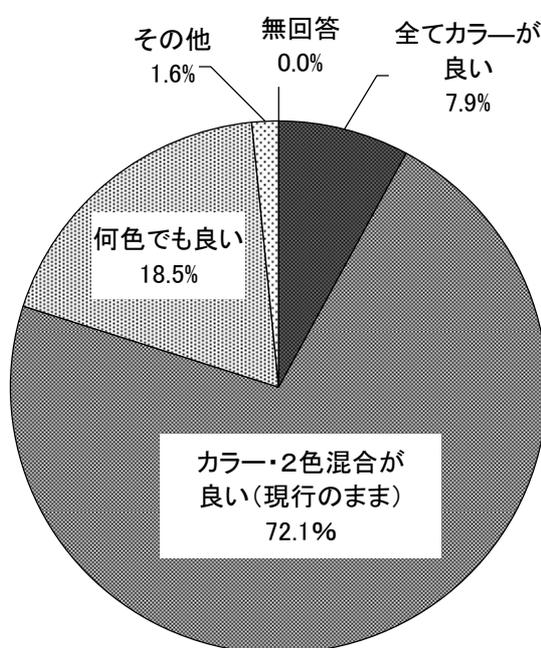
問10 カラーについてどのように思いますか？（1つ選択）

広報紙のカラーについては、「カラー・2色混合が良い（現行のまま）」が72.1%と7割以上を占めており、「全てカラーが良い」は7.9%にとどまっている。

年代別でみると、「カラー・2色混合が良い（現行のまま）」は20歳代と30歳代を除く全ての年代で7割以上となっている。「全てカラーが良い」は、20歳代で17.6%と最も高く、次いで30歳代で10.8%となっている。

「その他」の内容としては、「白黒」などがある。

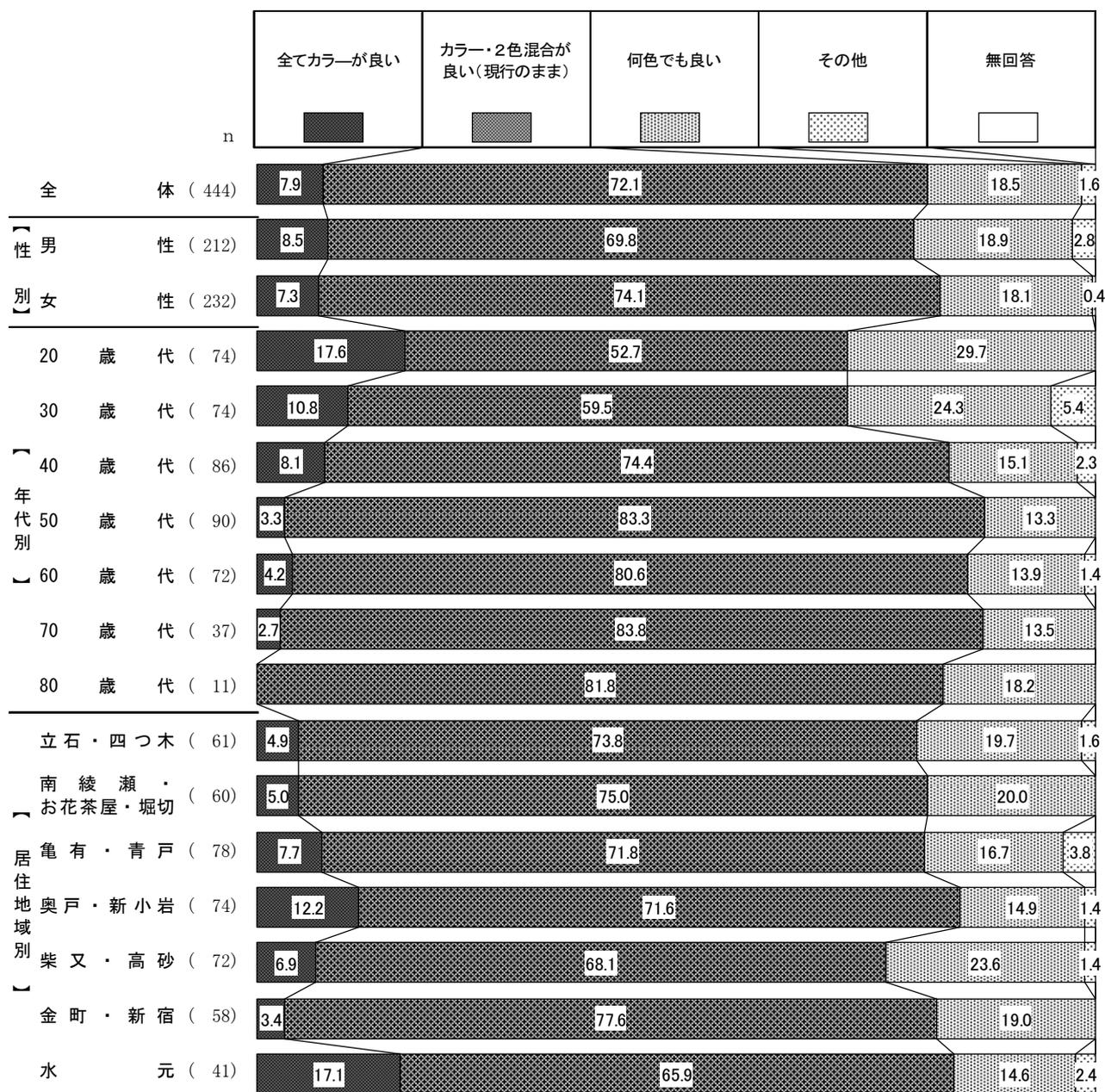
図表-19 広報紙のカラーについて（全体）



n=444

図表-20 広報紙のカラーについて
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)

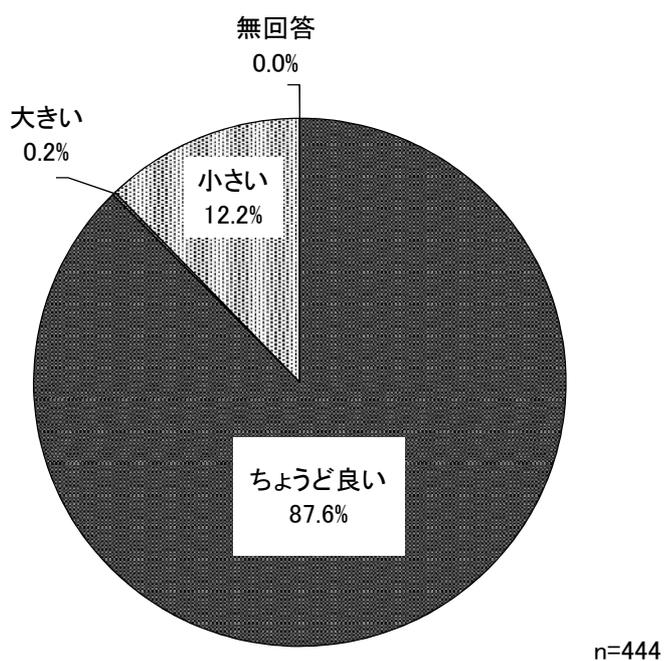


問 11 広報紙を読んでいる文字の大きさはどう感じますか？（1つ選択）

広報紙の文字の大きさについては、「ちょうど良い」が 87.6%で最も高く、次いで「小さい」が 12.2%となっている。

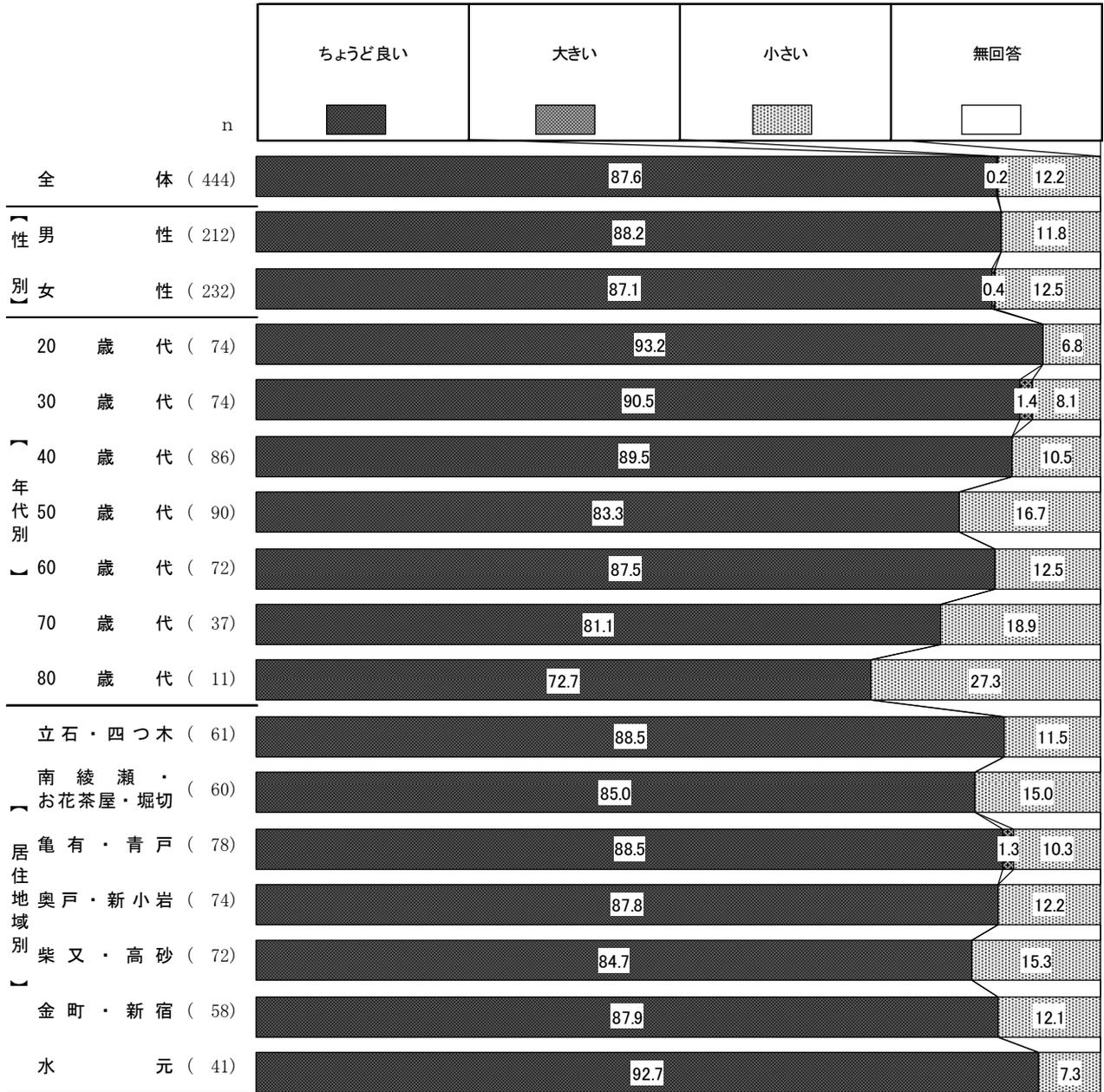
年代別でみると、「ちょうど良い」は、全ての年代で7割以上となっている。「小さい」は、80歳代で 27.3%、「大きい」は 30歳代で 1.4%とそれぞれ最も高くなっている。

図表-21 広報紙の文字の大きさについて（全体）



図表-22 広報紙の文字の大きさについて
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)

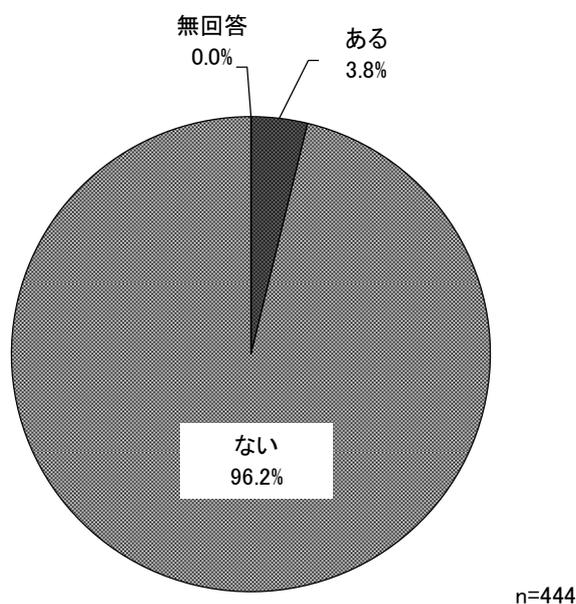


問 12 広報紙に掲載されている企業等の広告を見て、問い合わせや申し込みをしたことがありますか？（1つ選択）

広報紙の広告を見て、問い合わせや申し込みをしたことがあるかについては、96.2%の方が「ない」と回答している。一方、「ある」は3.8%となっている。

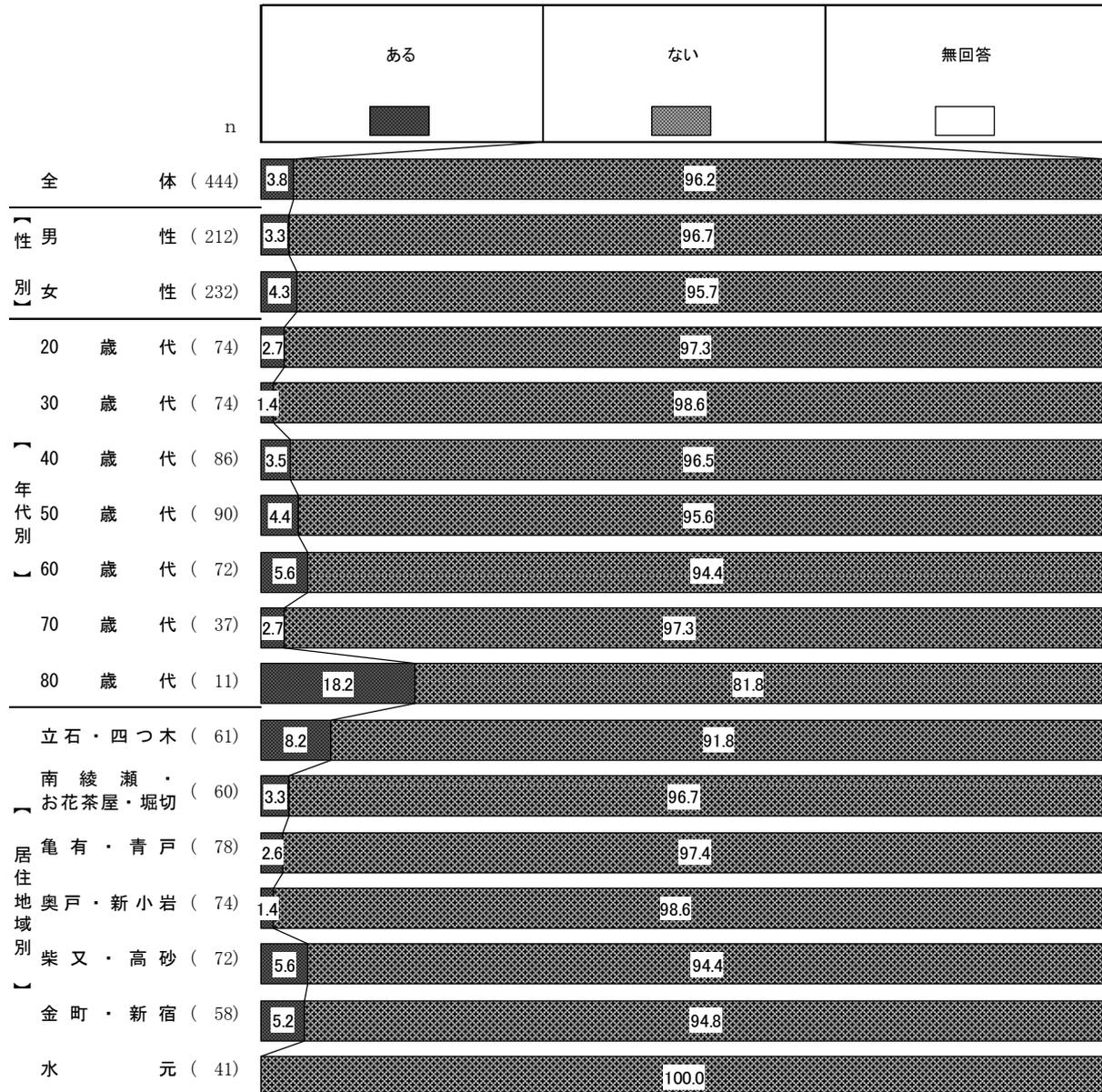
年代別でみると、「ない」は、全ての年代で8割以上となっている。一方、「ある」は、80歳代で18.2%と最も高く、80歳代を除く全ての年代で1割以下となっている。

図表-23 広報紙の広告を見ての問い合わせや申し込みの有無（全体）



図表-24 広報紙の広告を見ての問い合わせや申し込みの有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



問 13 表紙について、印象に残っている内容は何か？（自由記述）

（主なご意見）

- ・水遊びができる公園の特集
- ・葛飾納涼花火大会の表紙
- ・花菖蒲などの花の写真
- ・モンチッチ公園のリニューアル
- ・フィッシャーズがかつしか観光大使に就任
- ・東京 2020 オリンピック・パラリンピック
- ・コロナワクチンについて
- ・かつしか PAY（かつしかデジタルプレミアム付商品券）
- ・葛飾元気野菜
- ・金町・立石・新小岩の街づくり

問 14 広報かつしか全般のご意見をお聞かせください。（自由記述）

（主なご意見）

- ・初めて知る情報も多く、重要な情報源となっている。
- ・葛飾区のイベント、福祉、子育て支援など幅広い情報が満載で、区広報紙として充実していると思う。
- ・個人の方や、サークル活動の募集欄を見るのが好き。
- ・地区の施設の催し情報が分かりやすく載っていて良いと思う。
- ・子ども向けのイベントが、年齢別や年齢順で掲載されていると申し込みやすい。
- ・給付金や補助金などについて詳しく載せてほしい。
- ・文字数が多く読みにくい。
- ・月に3回は多いと感じる。月1回やペーパーレスにしてみても良いと思う。
- ・土日休みで風邪を引いた時に広報に掲載されている病院を調べて行った時は、本当にありがたいと感じた。
- ・災害情報や避難所の場所、防災のノウハウなどを掲載してほしい。
- ・区民へのインタビューなどがあれば面白い。
- ・区にある飲食店の紹介をしてほしい。
- ・子どもや高齢者向けの内容は充実しているが、会社員や独身者向けの内容がないように感じる。
- ・目次のようなものがあると良い。
- ・コラムの掲載を充実しても良いと思う。
- ・記事量（情報量）が多すぎる。

【参考】広報かつしかは区ホームページでもご覧いただけます。

<https://www.city.katsushika.lg.jp/> > 区政情報 > 広報・広聴 > 広報かつしか

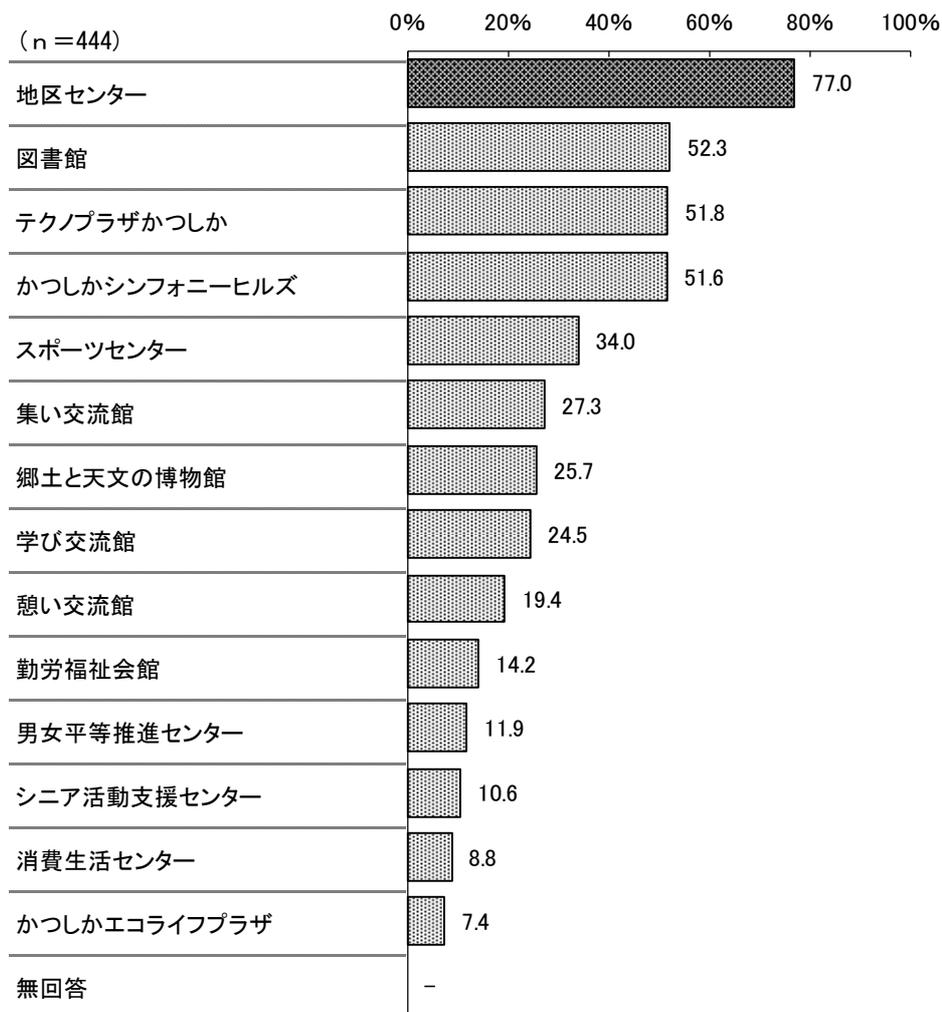
2. 公共施設の利用について

区内にある公共施設について、社会経済状況の変化や区民ニーズの多様化が進む中、利用実態を把握・分析し、今後の区民サービスの向上につなげるため、区民モニターの皆様のご意見をお伺いします。

問 15 次の区の施設のうち、会議室や集会機能があることを知っている施設はありますか？
(当てはまるものを全て選択)

区の施設の認知度については、「地区センター」が77.0%で最も高く、次いで「図書館」が52.3%、「テクノプラザかつしか」が51.8%となっている。

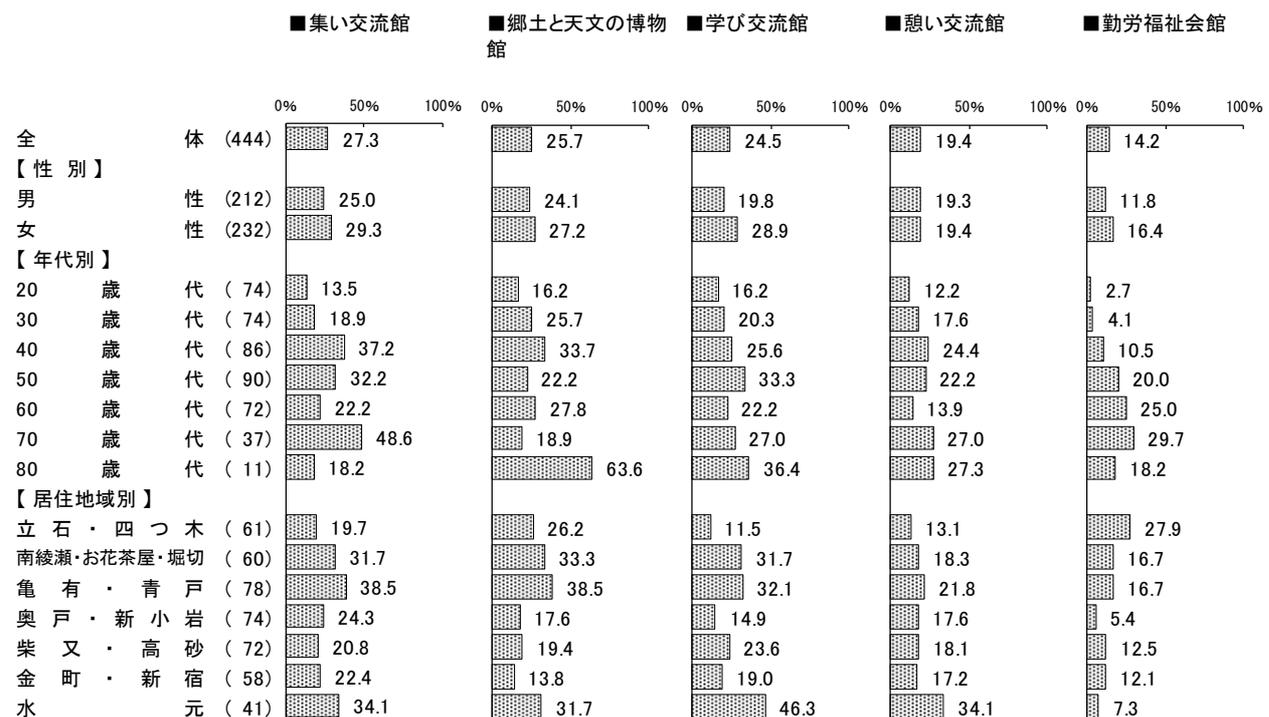
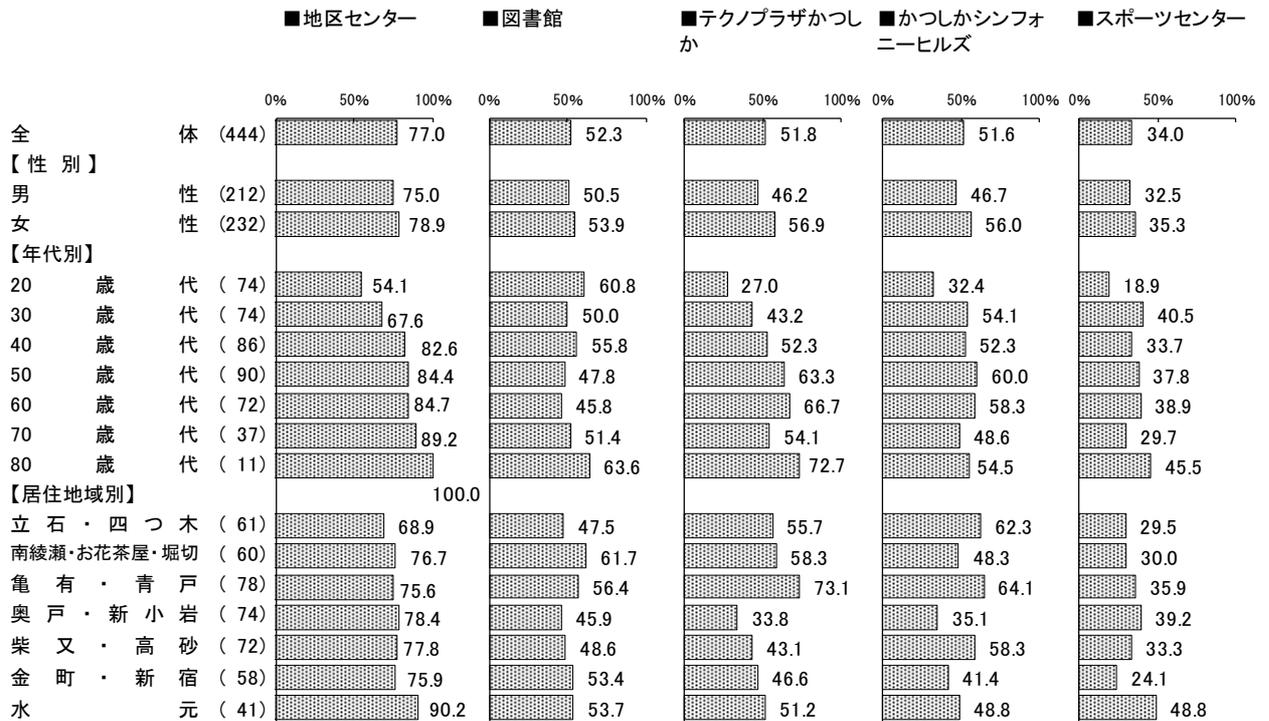
図表-25 区の施設の認知度（全体）



年代別でみると、「地区センター」は、20歳代と30歳代を除く全ての年代で8割以上となっている。「図書館」は、全ての年代で4割以上となっており、20歳代と80歳代の年代で6割台となっている。「テクノプラザかつしか」は、20歳代を除く全ての年代で4割以上となっている。

図表-26 区の施設の認知度

(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)



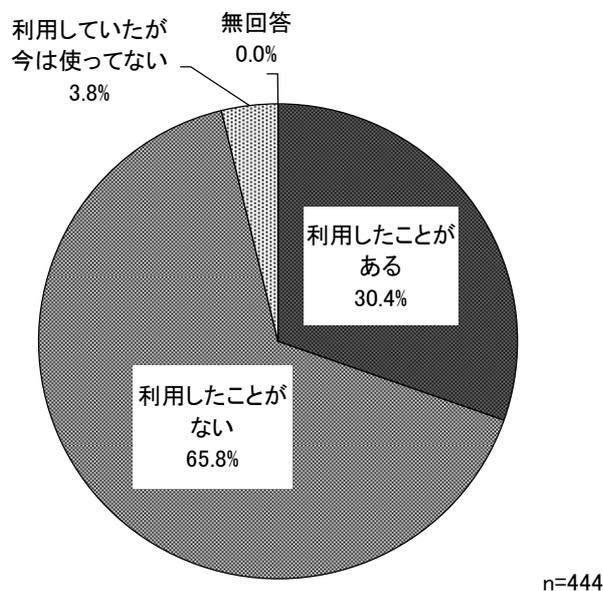
問 16 過去5年以内に区の集会施設を利用したことがありますか？なお、イベント参加の際などの利用は含まず、主催またはグループで活動する際に利用した場合に限ります。

(1つ選択)

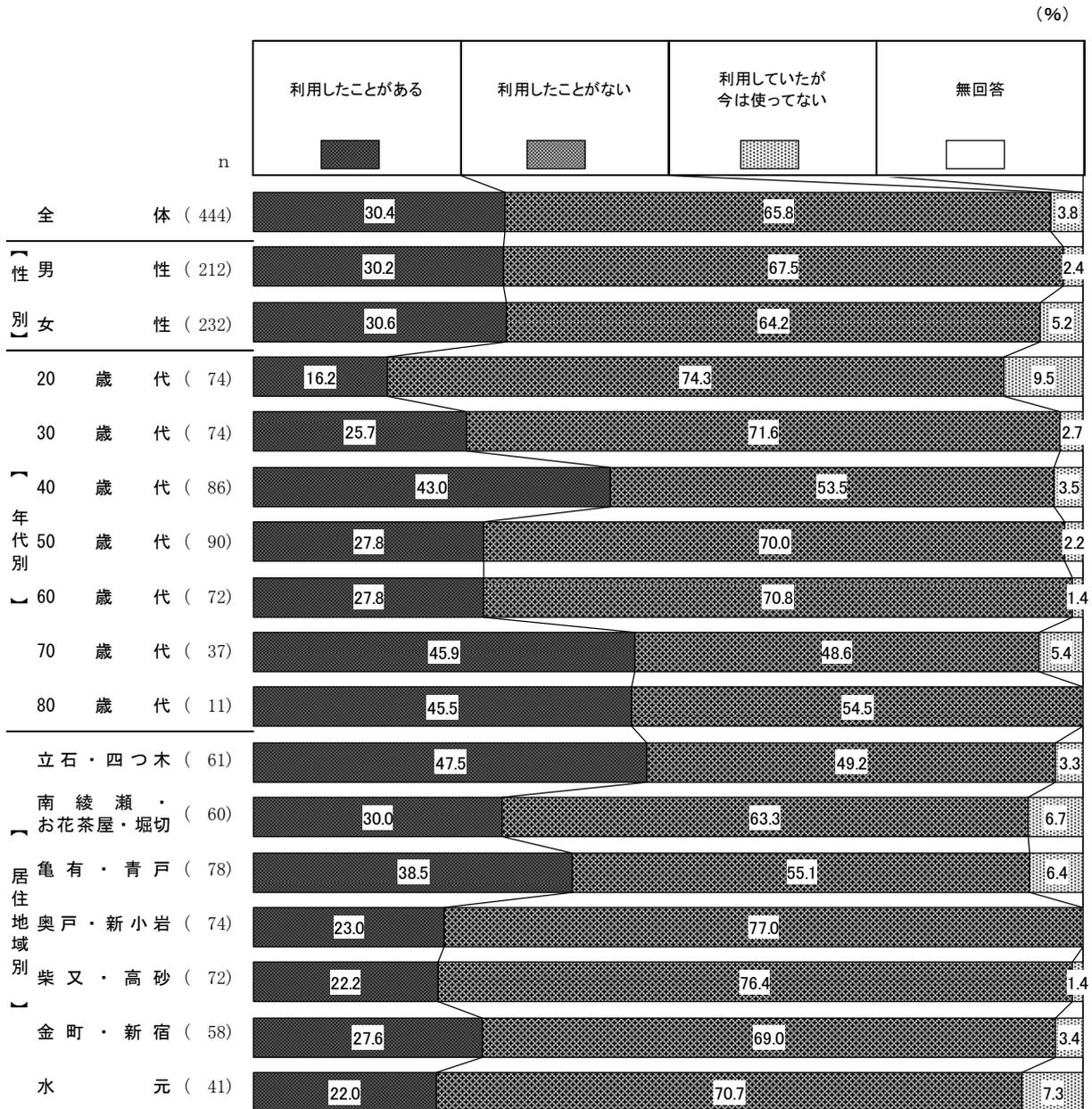
過去5年以内の区の集会施設利用の有無については、「利用したことがない」が65.8%で最も高く、「利用したことがある」は30.4%となっている。

年代別でみると、「利用したことがない」は、20歳代で74.3%と最も高く、次いで30歳代で71.6%となっている。「利用したことがある」は、40歳代と70歳代以上の年代で4割台となっている。

図表-27 過去5年以内の区の集会施設利用の有無（全体）



図表-28 過去5年以内の区の集会施設利用の有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)



問 16 で「利用したことがない」または「利用していたが今は使っていない」と答えた方へ
お伺いします。

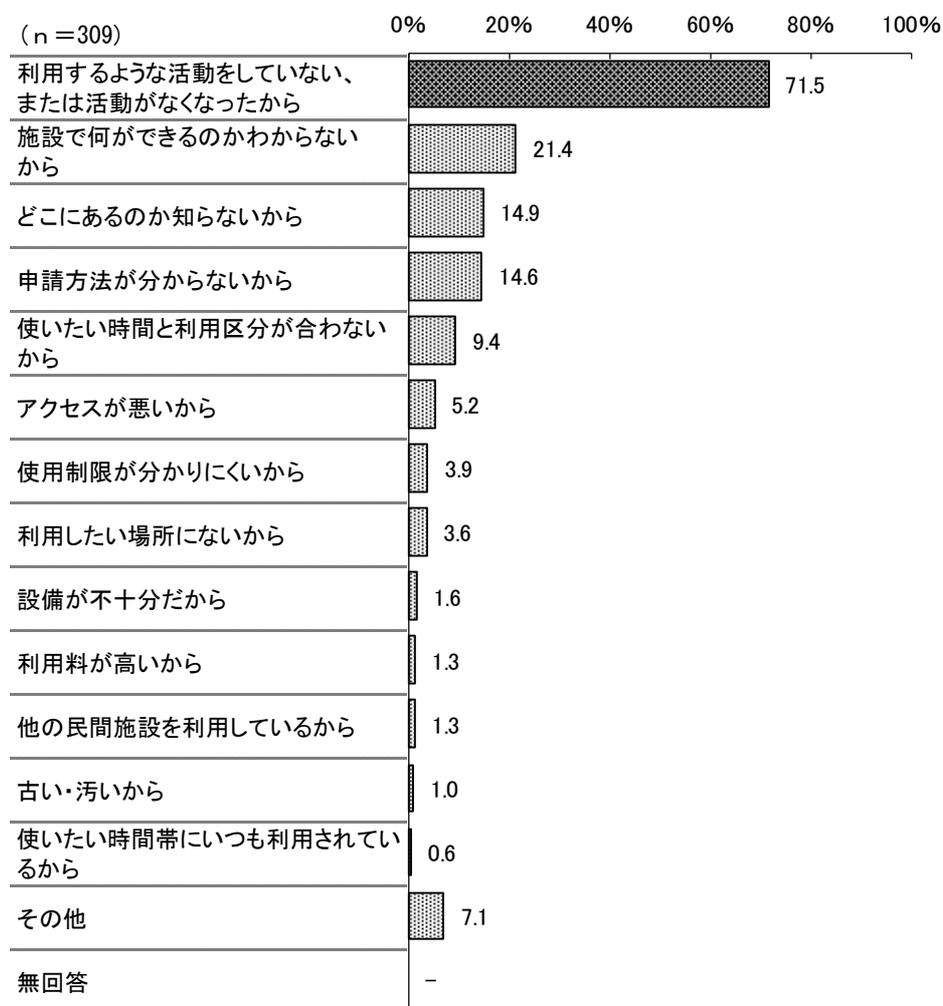
問 17 利用したことがない、または今は利用していない理由は何ですか？

(当てはまるものを全て選択)

区の集会施設を利用していない理由については、「利用するような活動をしていない、または活動がなくなったから」が 71.5%で最も高く、次いで「施設で何ができるのかわからないから」が 21.4%、「どこにあるのかわからないから」が 14.9%となっている。

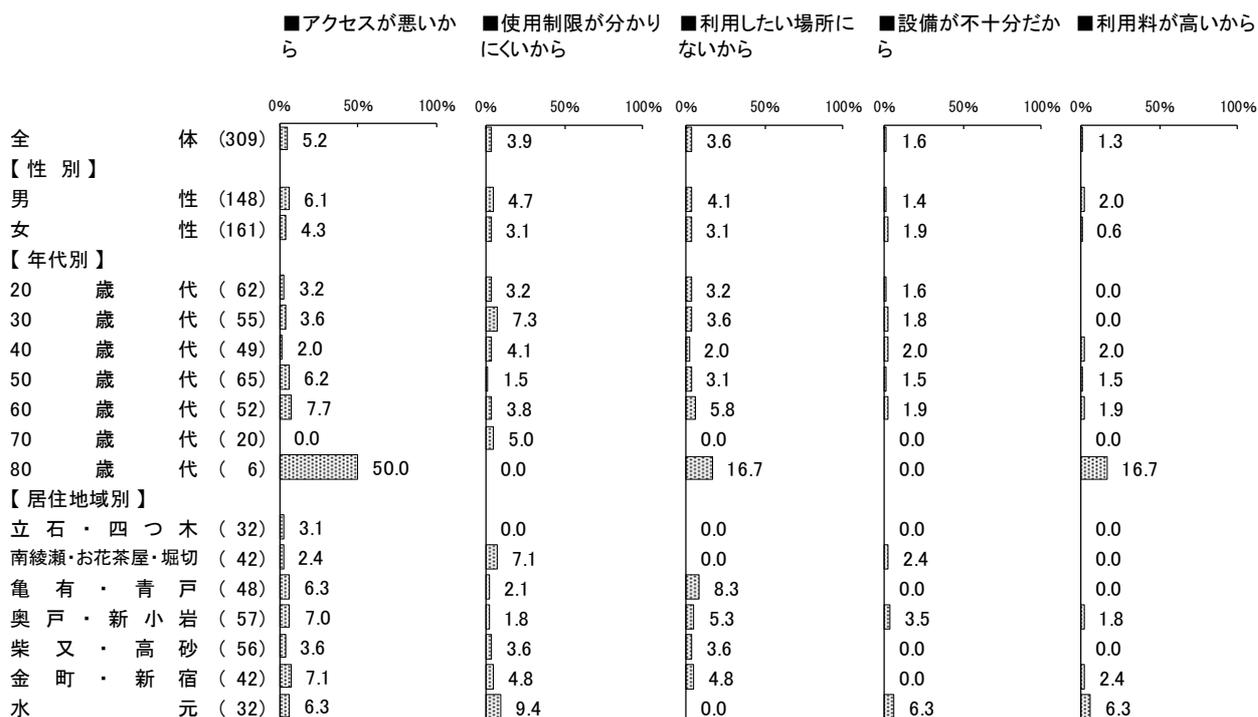
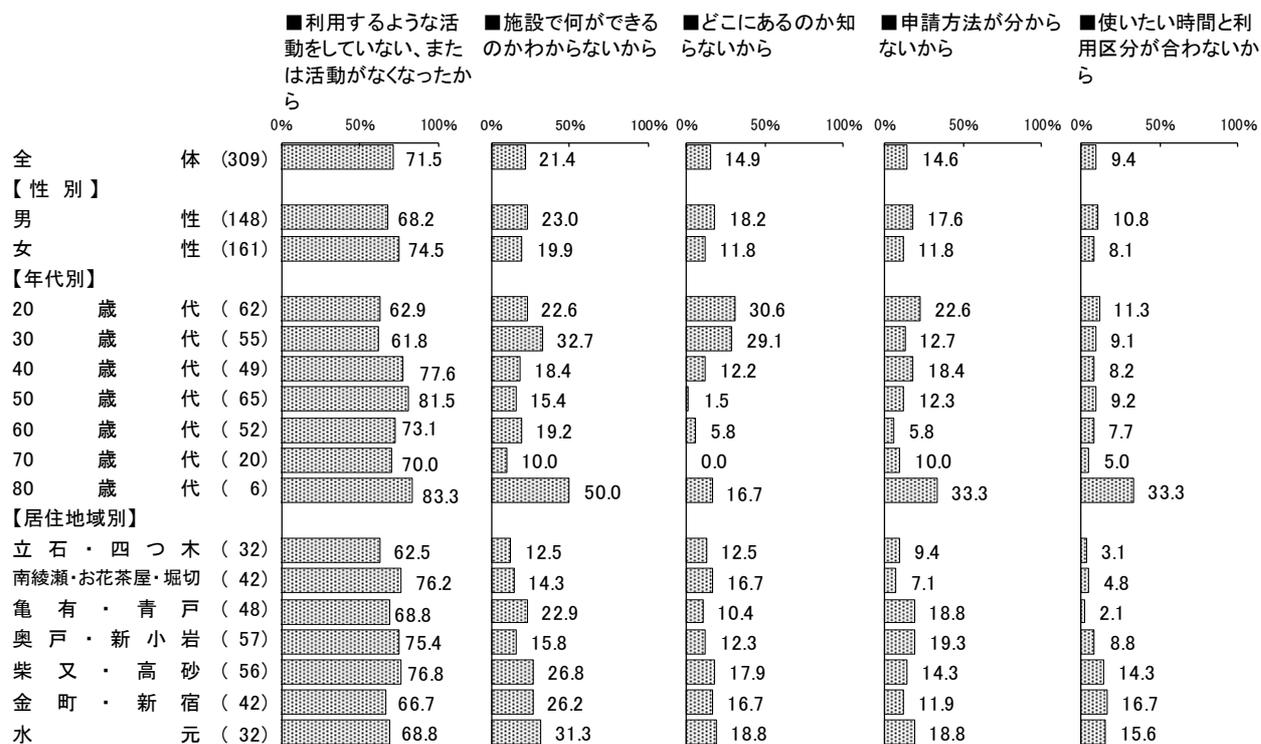
「その他」の内容としては、「利用する時間がない」、「施設があること自体を知らない」などがある。

図表-29 区の集会施設を利用していない理由（全体）



年代別でみると、「利用するような活動をしていない、または活動がなくなったから」は、全ての年代で6割以上となっている。「施設で何ができるのかわからないから」及び「どこにあるのかわからないから」は20歳代と30歳代で2割から3割となっている。

図表-30 区の集会施設を利用していない理由
(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)

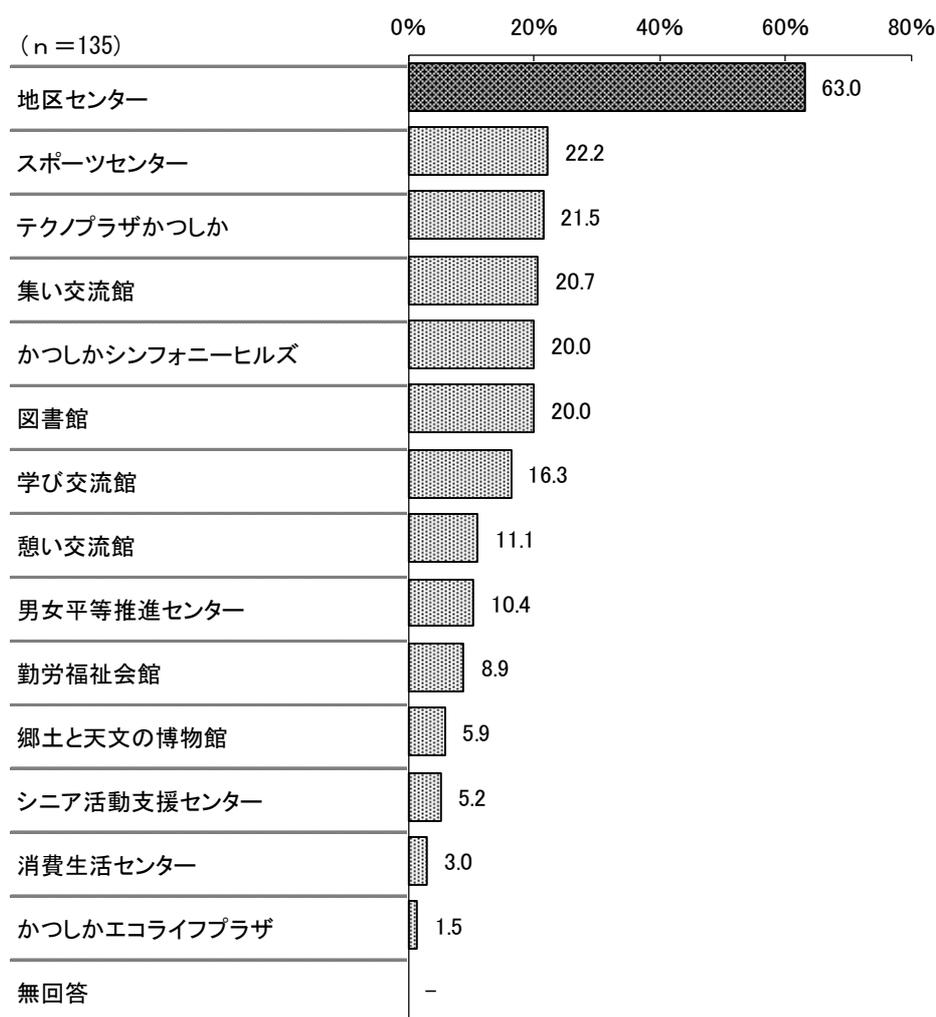


問 16 で「利用したことがある」と答えた方へお伺いします。

問 18 会議室などを利用している施設はどの施設ですか？（当てはまるものを全て選択）

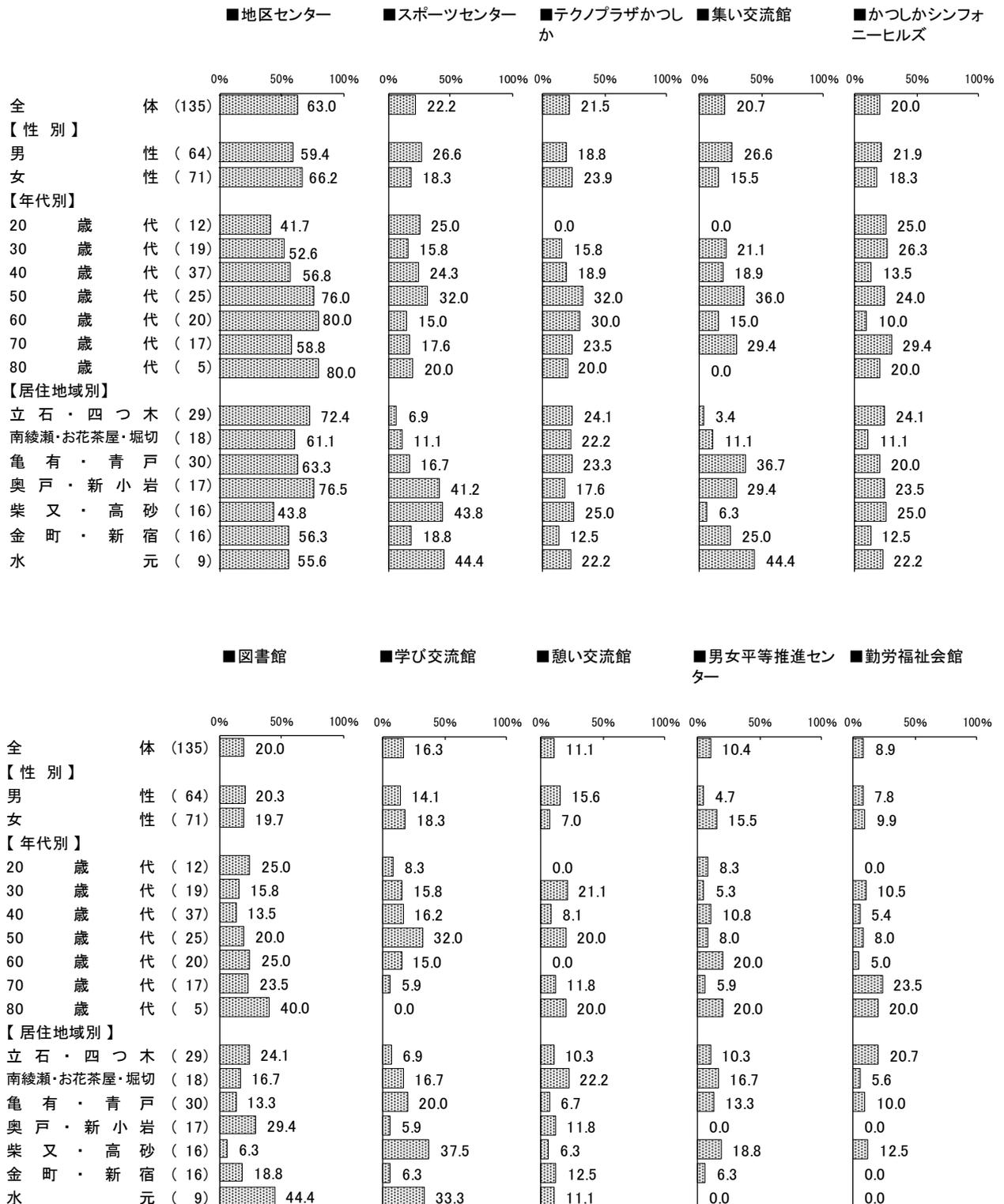
会議室などを利用している施設はどの施設かについては、「地区センター」が 63.0%で最も高く、次いで「スポーツセンター」が 22.2%、「テクノプラザかつしか」が 21.5%となっている。

図表-31 会議室などを利用している施設（全体）



年代別でみると、「地区センター」は、20歳代を除く全ての年代で50%以上となっている。「スポーツセンター」は、50歳代で32.0%と最も高く、次いで、20歳代で25.0%となっている。「集い交流館」は、50歳代が36.0%で最も高くなっている。

図表-32 会議室などを利用している施設
(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)

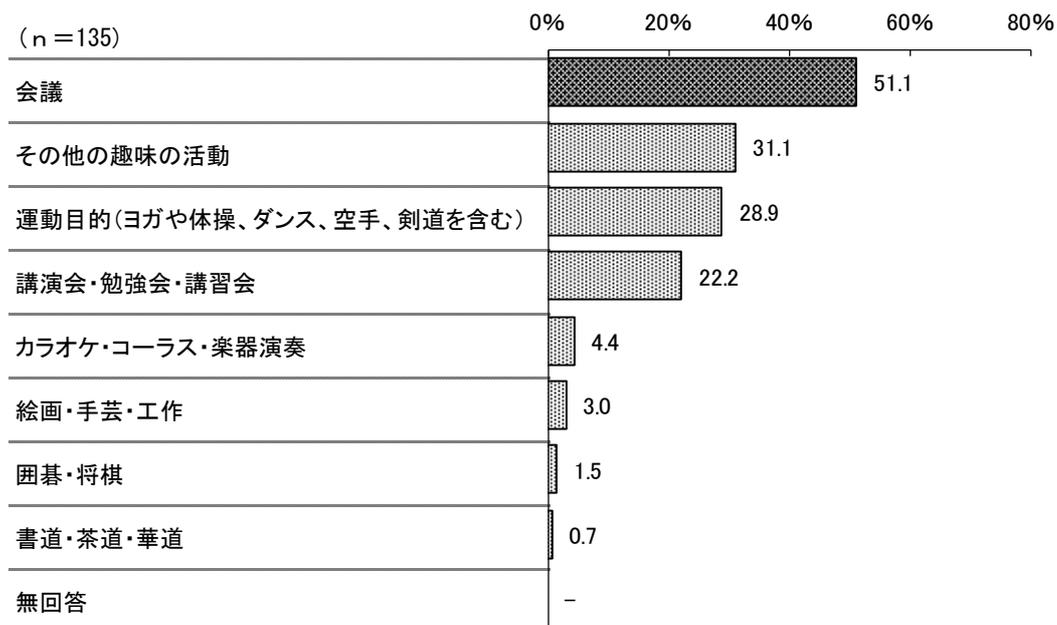


問16で「利用したことがある」と答えた方へお伺いします。

問19 利用の主な理由や目的は何ですか？（当てはまるものを全て選択）

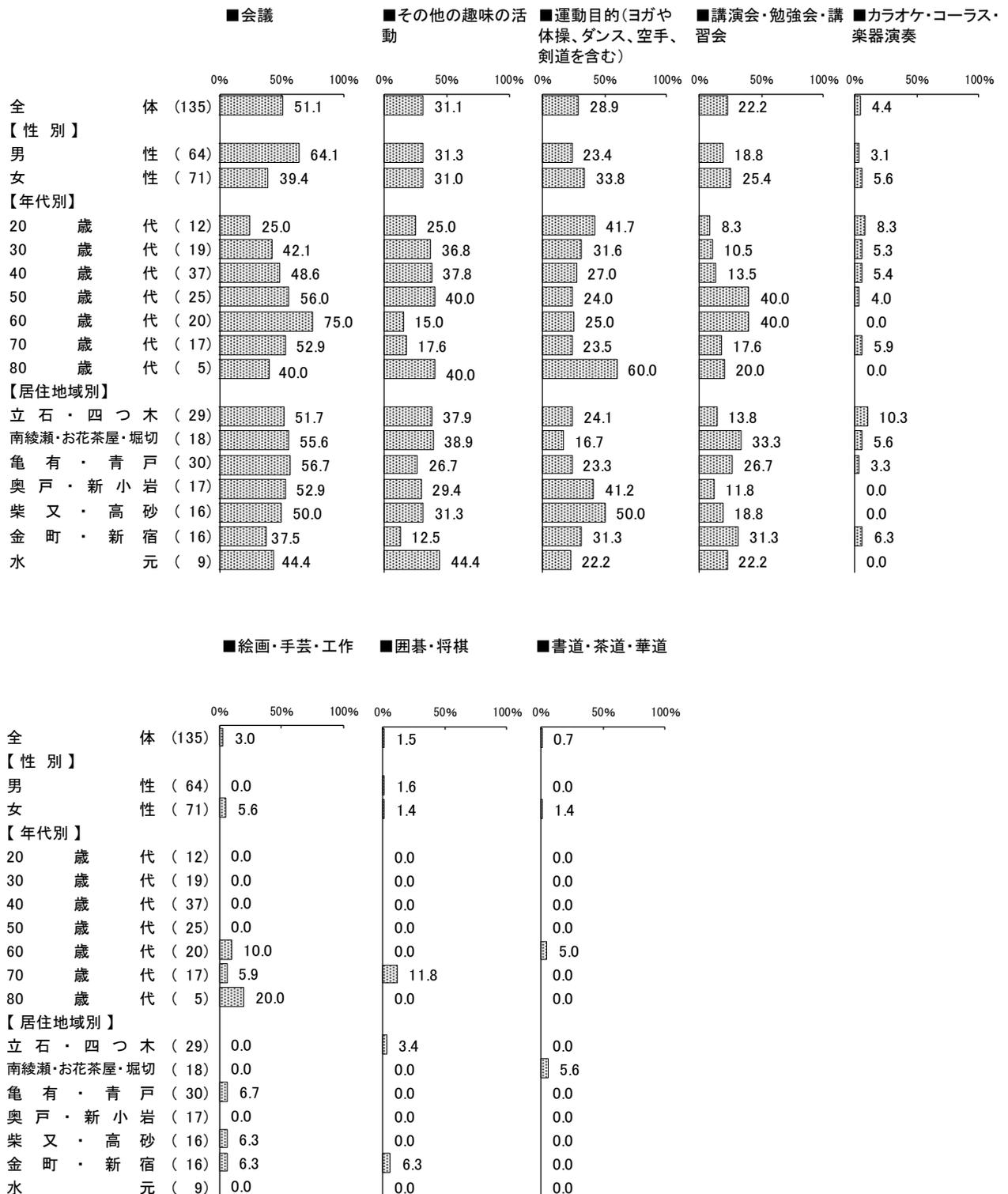
施設利用の主な理由や目的については、「会議」が51.1%で最も高く、次いで「その他の趣味の活動」が31.1%、「運動目的（ヨガや体操、ダンス、空手、剣道を含む）」が28.9%となっている。

図表-33 施設利用の主な理由や目的（全体）



年代別でみると、「会議」は、60歳代が75.0%で最も高く、次いで50歳代で56.0%となっている。「その他の趣味の活動」は、60歳代と70歳代を除く全ての年代で2割以上、60歳代と70歳代で1割台となっている。「運動目的(ヨガや体操、ダンス、空手、剣道を含む)」は、全ての年代で20%以上となっている。

図表-34 施設利用の主な理由や目的
(全体・性別・年代別・居住地域別)



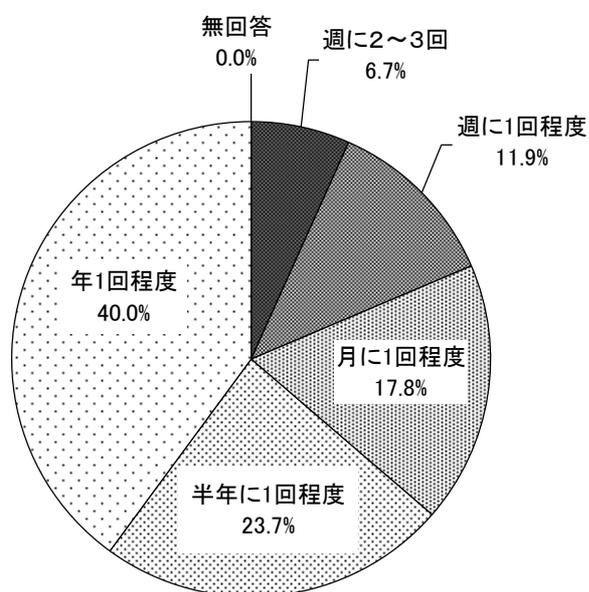
問 16 で「利用したことがある」と答えた方へお伺いします。

問 20 利用の頻度はどれくらいですか？（1つ選択）

施設の利用頻度については、「年1回程度」が40.0%で最も高く、次いで、「半年に1回程度」が23.7%となっている。

年代別で見ると、「年1回程度」は、50歳代以下の年代で4割以上となっており、20歳代が66.7%で最も高くなっている。「半年に1回程度」は、30歳代が31.6%で最も高く、「週に2～3回」は、70歳代以上を除く全ての年代で1割以下となっている。

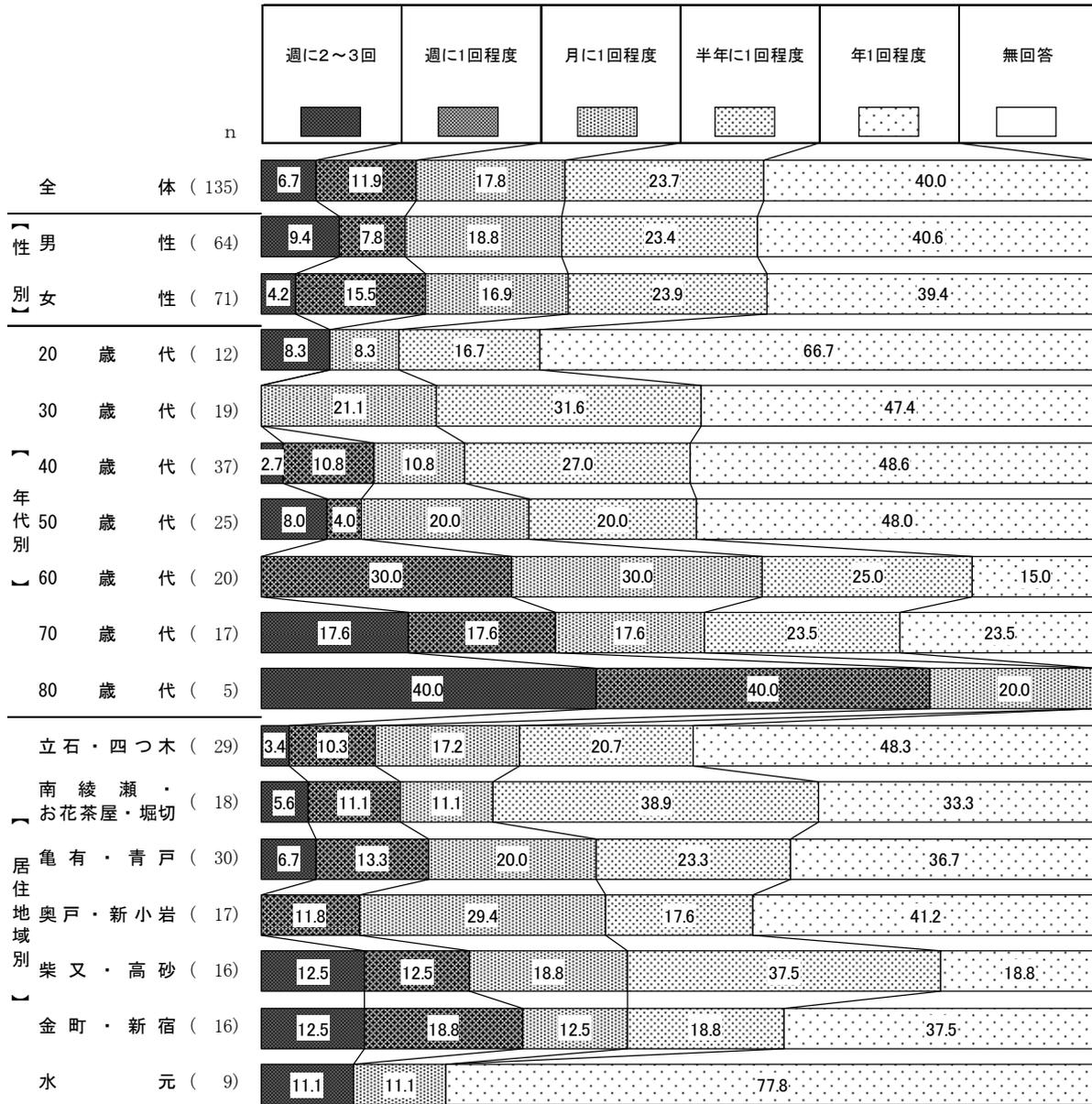
図表-35 施設の利用頻度（全体）



n=135

図表-36 施設の利用頻度
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



問 16 で「利用したことがある」と答えた方へお伺いします。

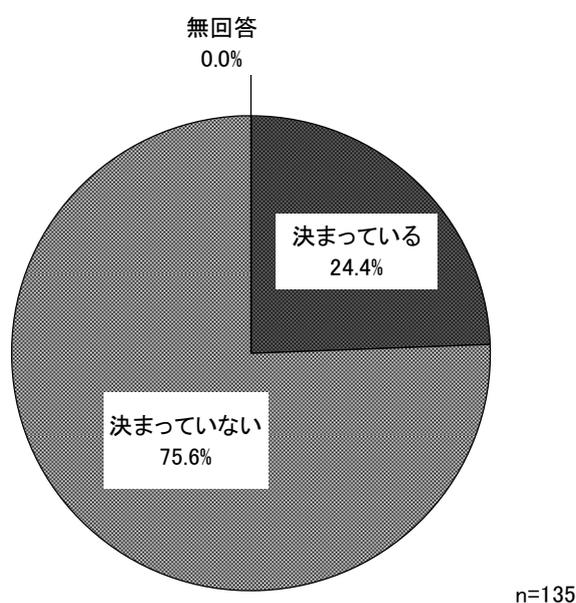
問 21 利用する曜日や時間帯は決まっていますか？（1つ選択）

利用する曜日や時間帯は決まっているかについては、「決まっている」が 24.4%、「決まっていない」が 75.6%となっている。

年代別で見ると、「決まっている」は、60 歳代と 70 歳代で 4 割台となっている。「決まっていない」は 70 歳代を除く全ての年代で 6 割以上となっている。

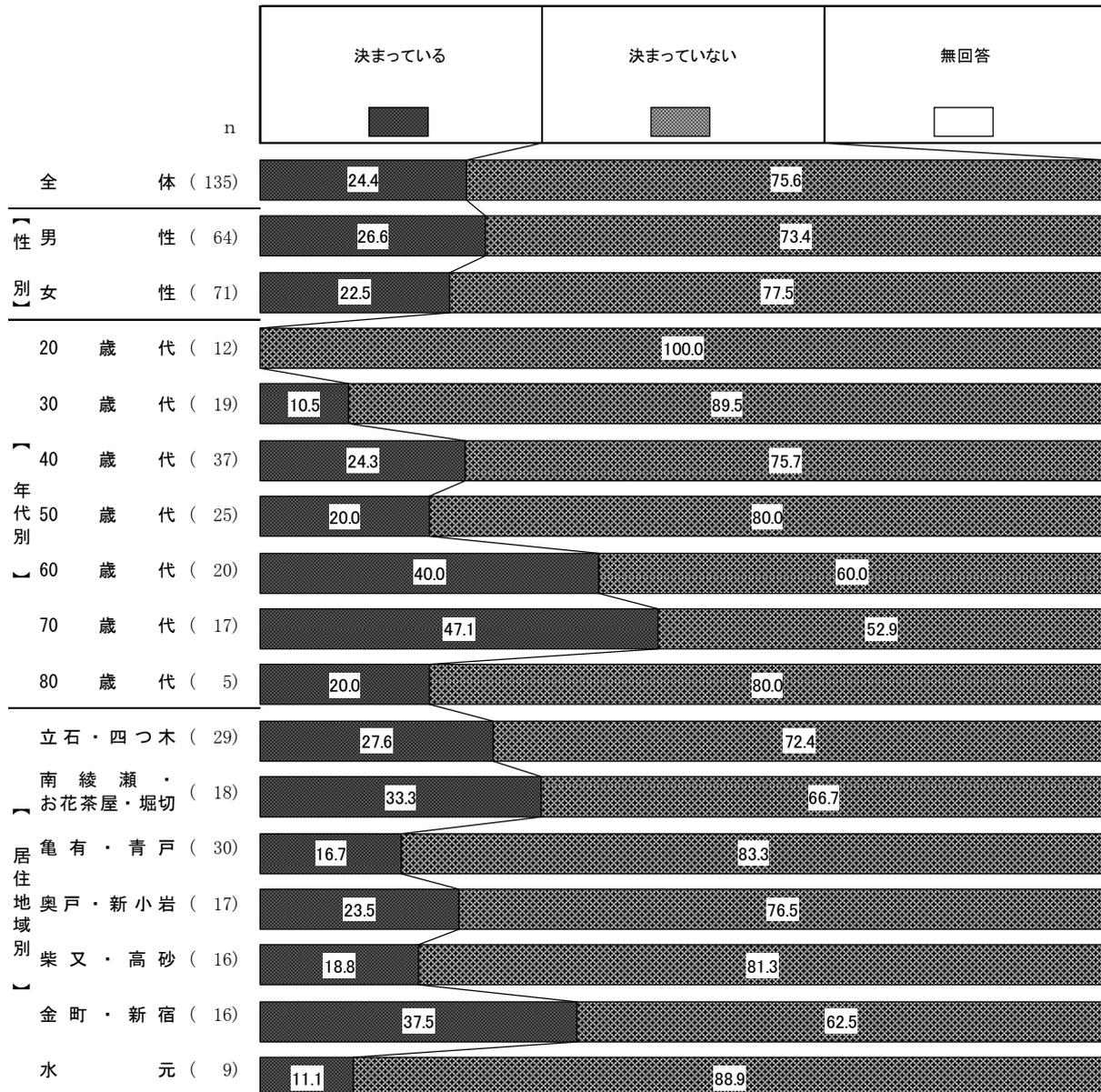
具体的な曜日としては、「日曜日」、「午後」が多くなっている。

図表-37 利用する曜日や時間帯は決まっているか（全体）



図表-38 利用する曜日や時間帯は決まっているか
 (全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



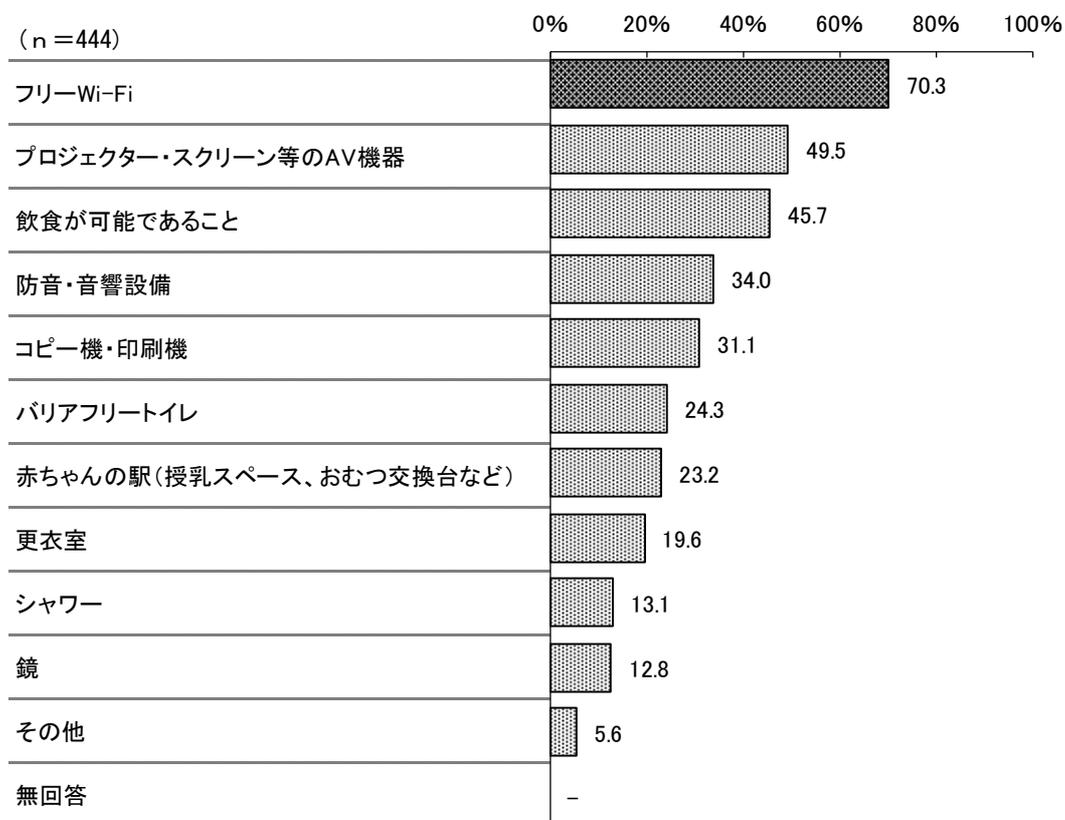
問 22 利用にあたって必要な設備、機能は何だと思いますか？

(当てはまるものを全て選択)

施設利用に必要な設備、機能は何かについては、「フリーWi-Fi」が70.3%で最も高く、次いで「プロジェクター・スクリーン等のAV機器」が49.5%、「飲食が可能であること」が45.7%となっている。

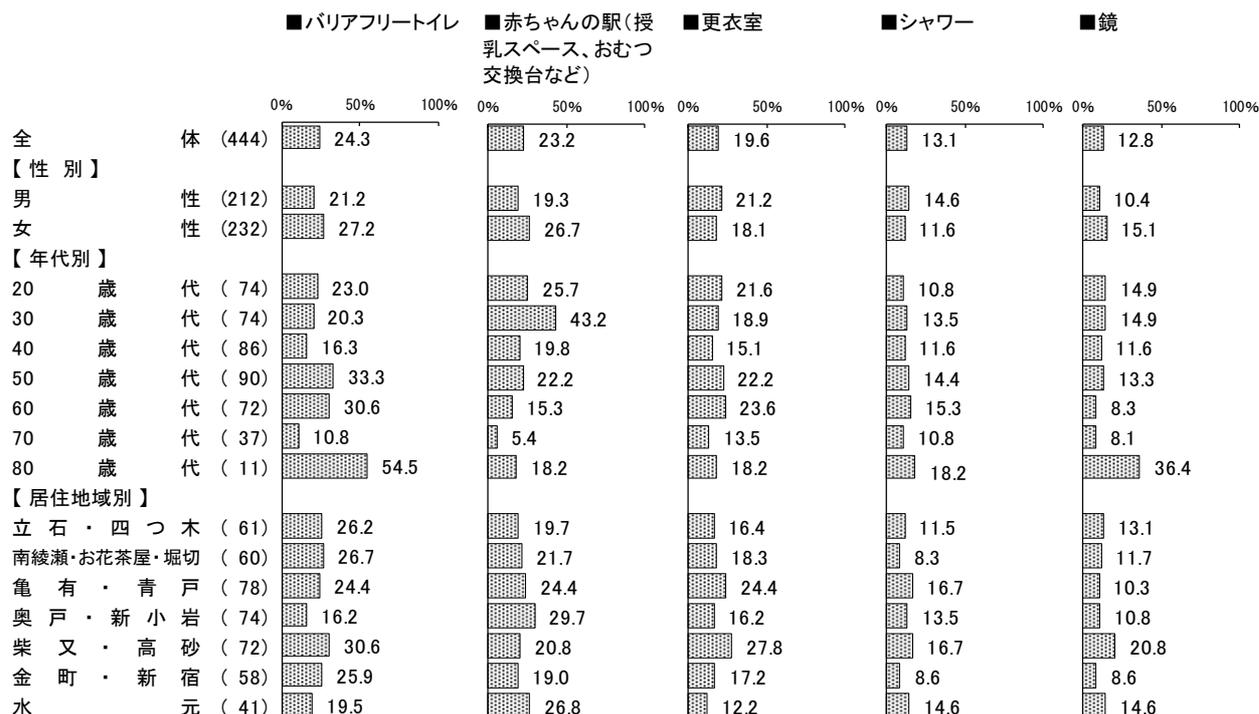
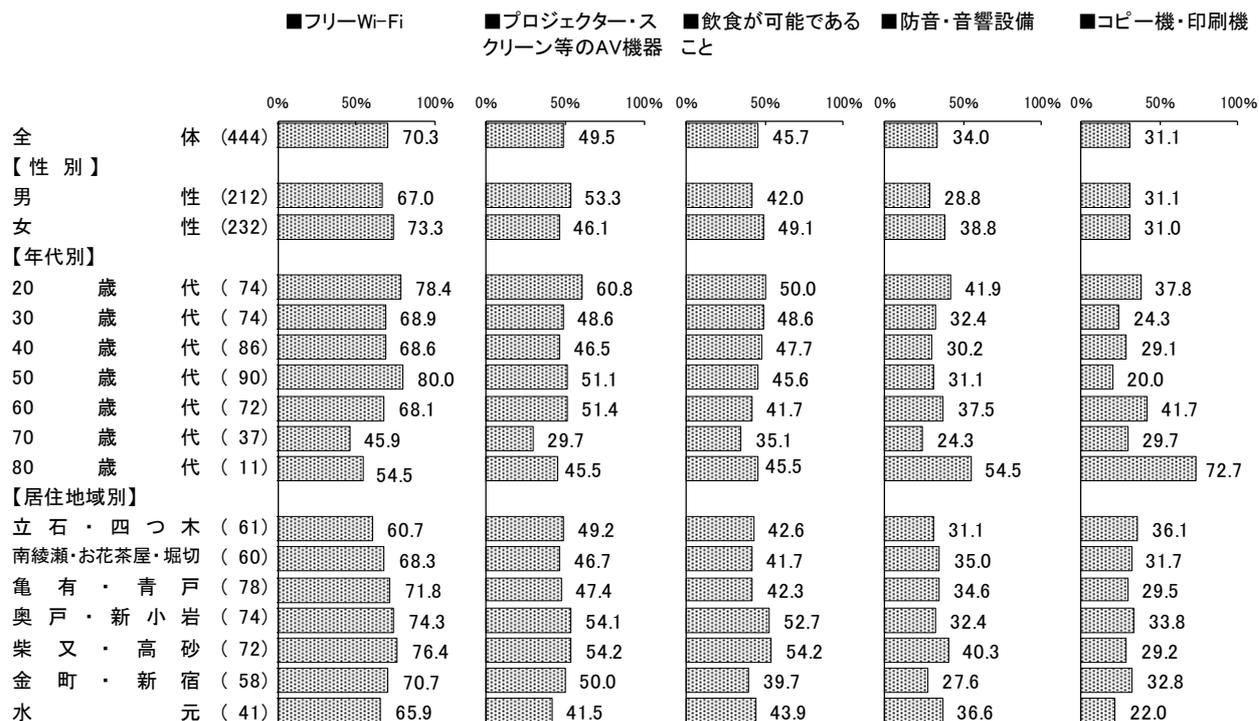
「その他」の内容としては、「ホワイトボード」、「机と椅子」、「冷暖房」などがある。

図表-39 施設利用に必要な設備、機能（全体）



年代別でみると、「フリーWi-Fi」は、70歳代以上を除く全ての年代で6割以上となっており、50歳代が80.0%で最も高く、次いで20歳代で78.4%となっている。「プロジェクター・スクリーン等のAV機器」、「飲食が可能であること」は、70歳代を除く全ての年代で4割以上となっている。

図表-40 施設利用に必要な設備、機能
(全体・性別・年代別・居住地域別—上位10項目)

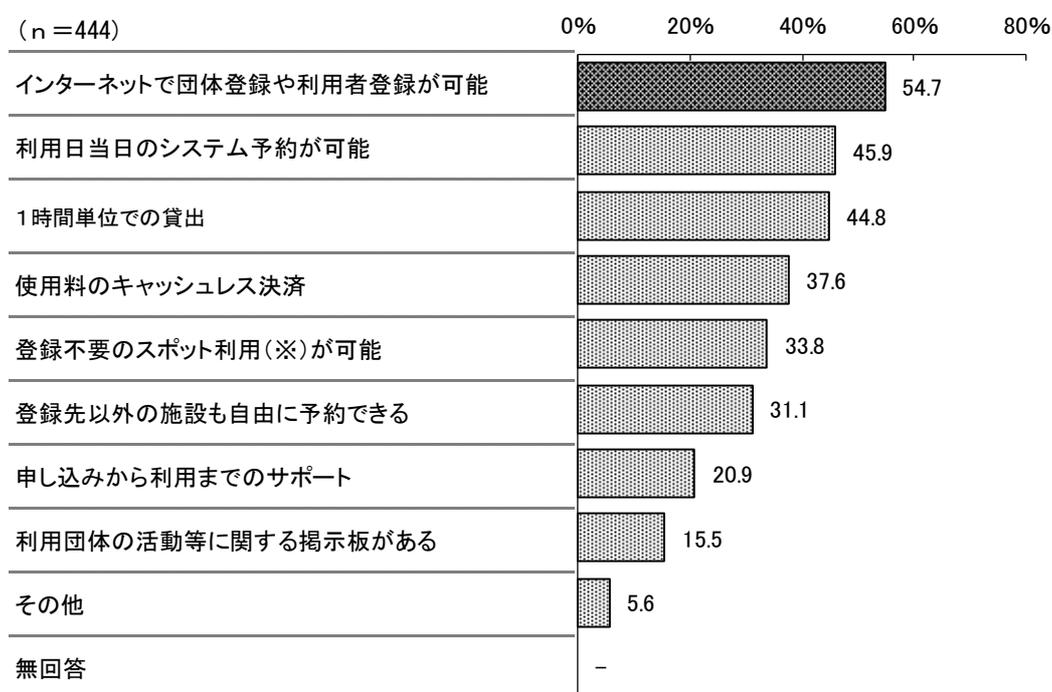


問 23 どのようなサービスがあると活動が充実すると思いますか？または、どのようなサービスがあれば利用したいですか？（当てはまるものを全て選択）

どのようなサービスがあると活動が充実し、利用したくなるかについては、「インターネットで団体登録や利用者登録が可能」が 54.7%で最も高く、次いで「利用日当日のシステム予約が可能」が 45.9%、「1時間単位での貸出」が 44.8%となっている。

「その他」の内容としては、「ネットでの空き状況の確認と予約」、「事前キャッシュレス決済」、「3か月前からの予約」などがある。

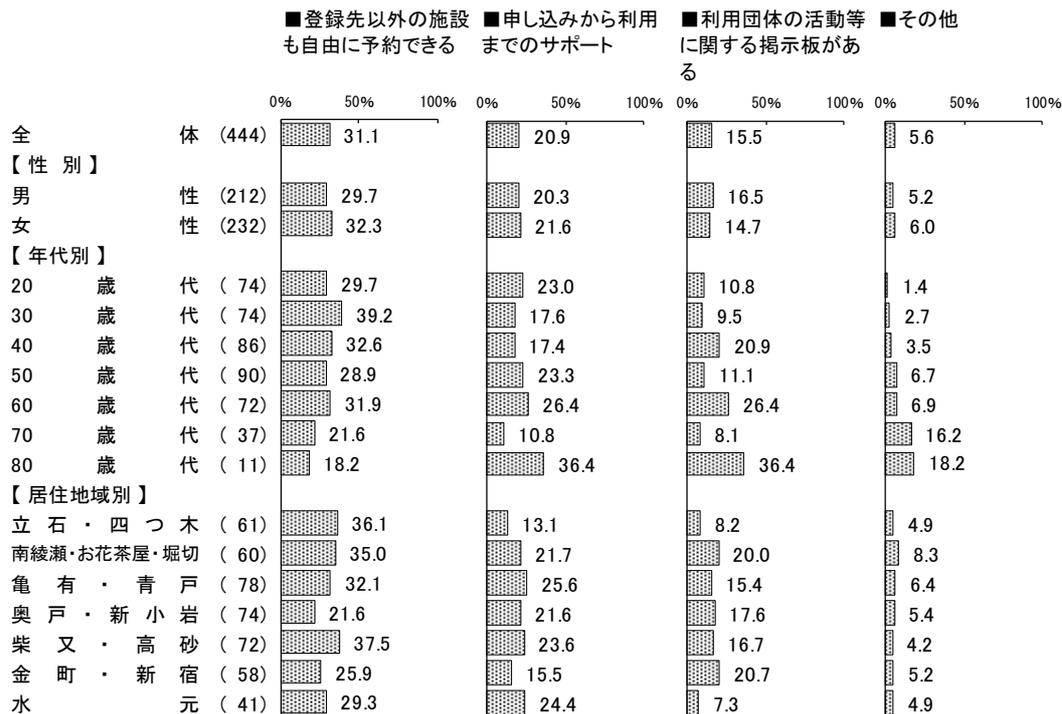
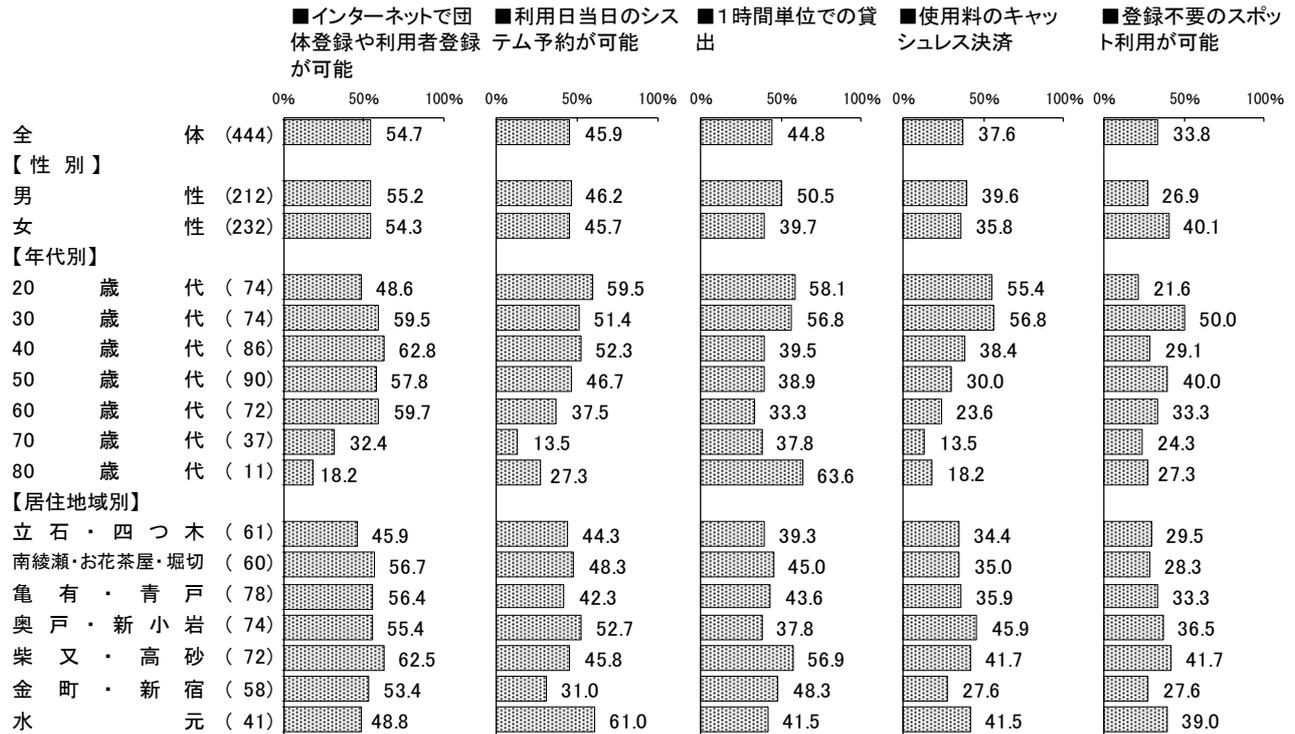
図表-41 どのようなサービスがあると活動が充実し、利用したくなるか（全体）



(※)当日空きがあれば事前の予約なしに時間単位で利用ができ、インターネットから申し込める。

年代別でみると、「インターネットで団体登録や利用者登録が可能」は、70歳代以上を除く全ての年代で4割以上となっている。「1時間単位での貸出」は、30歳代以下と80歳代で5割以上と高くなっている。「使用料のキャッシュレス決済」は、30歳代以下で5割台と高くなっている。

図表-42 どのようなサービスがあると活動が充実し、利用したくなるか
(全体・性別・年代別・居住地域別)



3. かつしか郷土かるたについて

かつしか郷土かるたは、「葛飾に住む誰もが、いつまでもふるさとに誇りを持ち、愛し続けてほしい」という願いから平成24年2月に誕生しました。

郷土を学ぶことができる教材として、毎年区内の小学校3年生全児童に配付するとともに、全区的な子どもの競技大会や地域のイベントなど、さまざまな場面での活用が進んでおります。

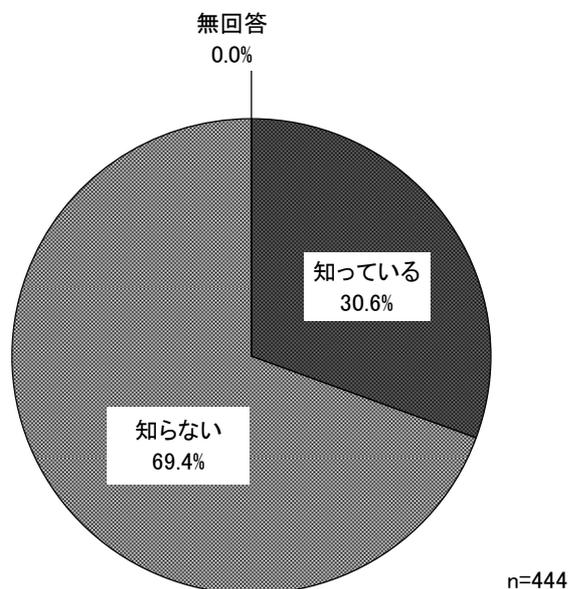
かつしか郷土かるたが誕生してから今年で12年目を迎え、区民の方々への認知度を把握し、今後さらに普及・活用させていくため、区民モニターの皆様のご意見をお伺いします。

問 24 かつしか郷土かるたがあることを知っていますか？（1つ選択）

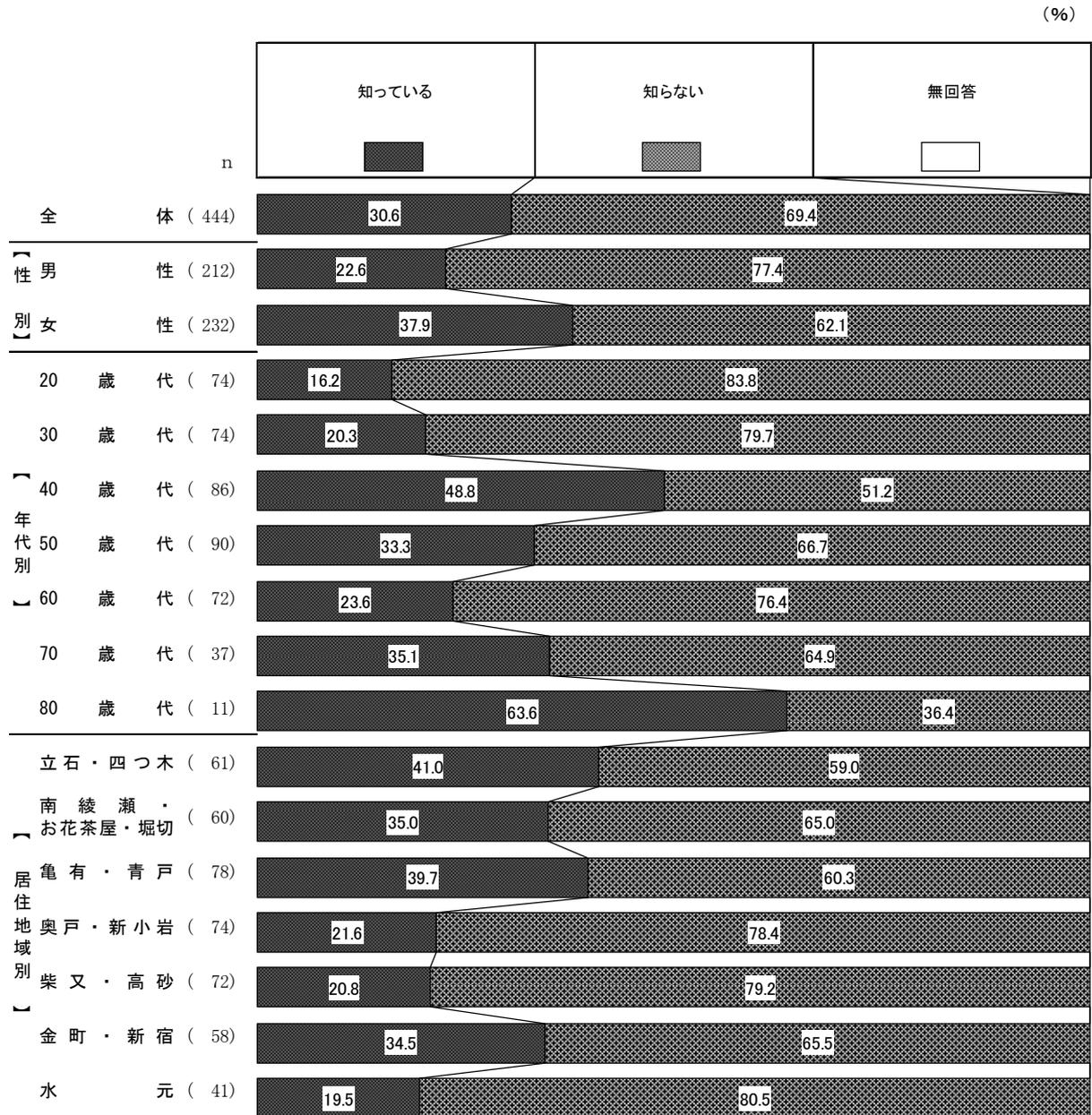
かつしか郷土かるたの認知度については、「知っている」が30.6%となっている。一方、「知らない」は69.4%と半数以上を占めている。

年代別でみると、「知っている」は、80歳代で63.6%と最も高く、次いで40歳代で48.8%となっている。「知らない」は、80歳代を除く全ての年代で5割以上となっている。

図表-43 かつしか郷土かるたの認知度（全体）



図表-44 かつしか郷土かるたの認知度
(全体・性別・年代別・居住地域別)



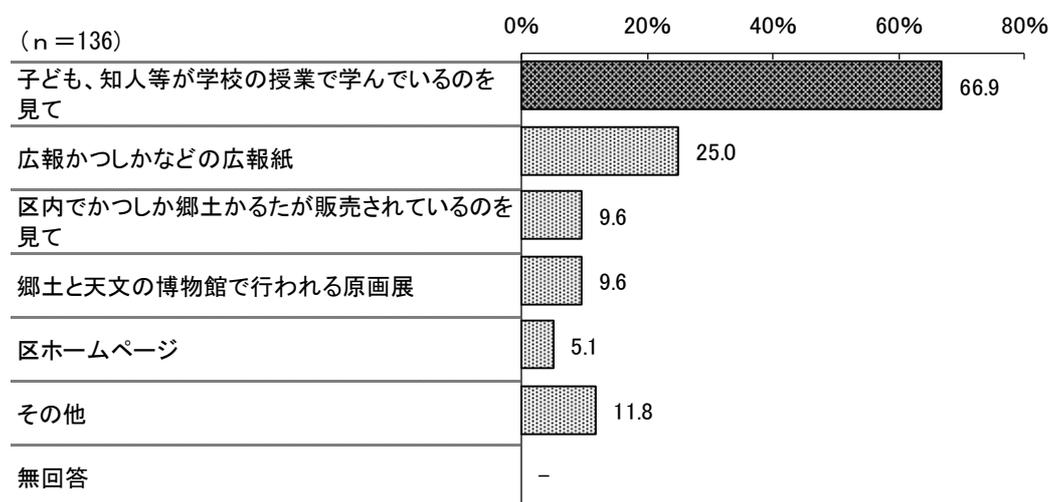
問 24 で「知っている」と答えた方へお伺いします。

問 25 どこでかつしか郷土かるたを知りましたか？（当てはまるものを全て選択）

どこでかつしか郷土かるたを知ったかについては、「子ども、知人等が学校の授業で学んでいるのを見て」が 66.9%で最も高く、次いで「広報かつしかなどの広報紙」が 25.0%、「区内でかつしか郷土かるたが販売されているのを見て」、「郷土と天文の博物館で行われる原画展」がそれぞれ 9.6%となっている。

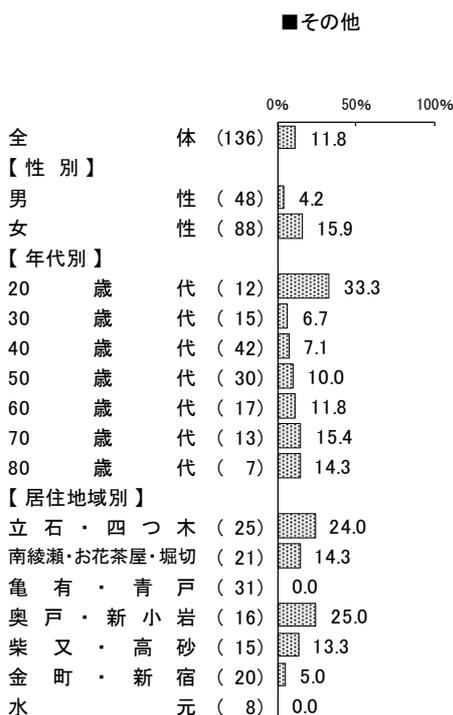
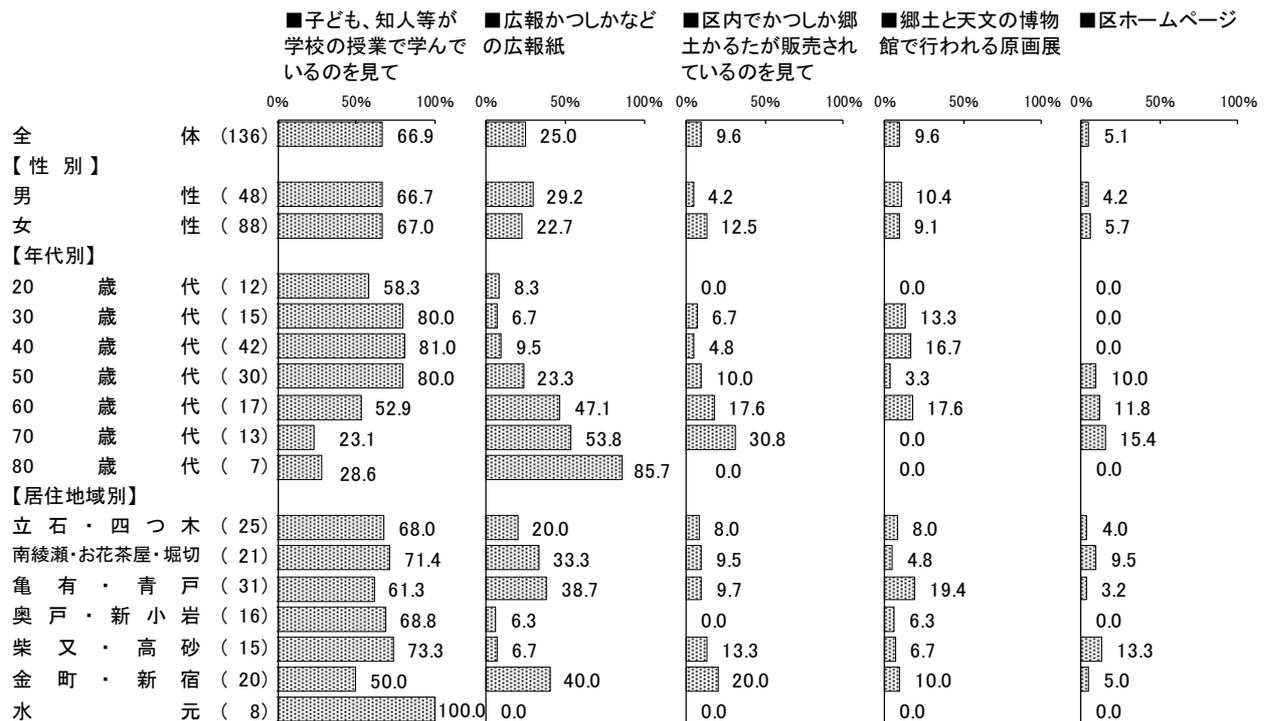
「その他」の内容としては、「図書館」、「駅」、「子ども会」などがある。

図表-45 どこでかつしか郷土かるたを知ったか（全体）



年代別でみると、「子ども、知人等が学校の授業で学んでいるのを見て」は、30歳代、40歳代、50歳代が8割台と高くなっている。「広報かつしかなどの広報紙」は、年代とともに高くなる傾向があり、70歳代で53.8%、80歳代で85.7%となっている。「区内でかつしか郷土かるたが販売されているのを見て」は、70歳代が30.8%で最も高くなっている。

図表-46 どこでかつしか郷土かるたを知ったか
(全体・性別・年代別・居住地域別)

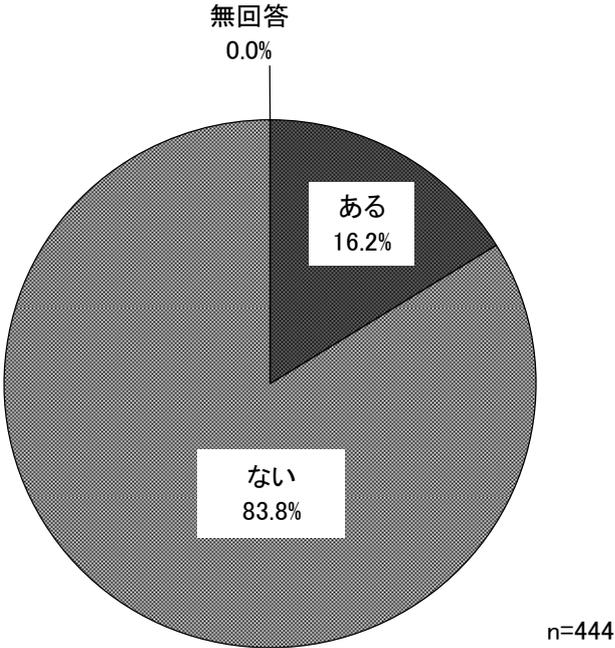


問 26 かつしか郷土かるたを使用したことはありますか？（1つ選択）

かつしか郷土かるたの使用有無については、16.2%の方が「ある」、83.8%の方が「ない」と回答している。

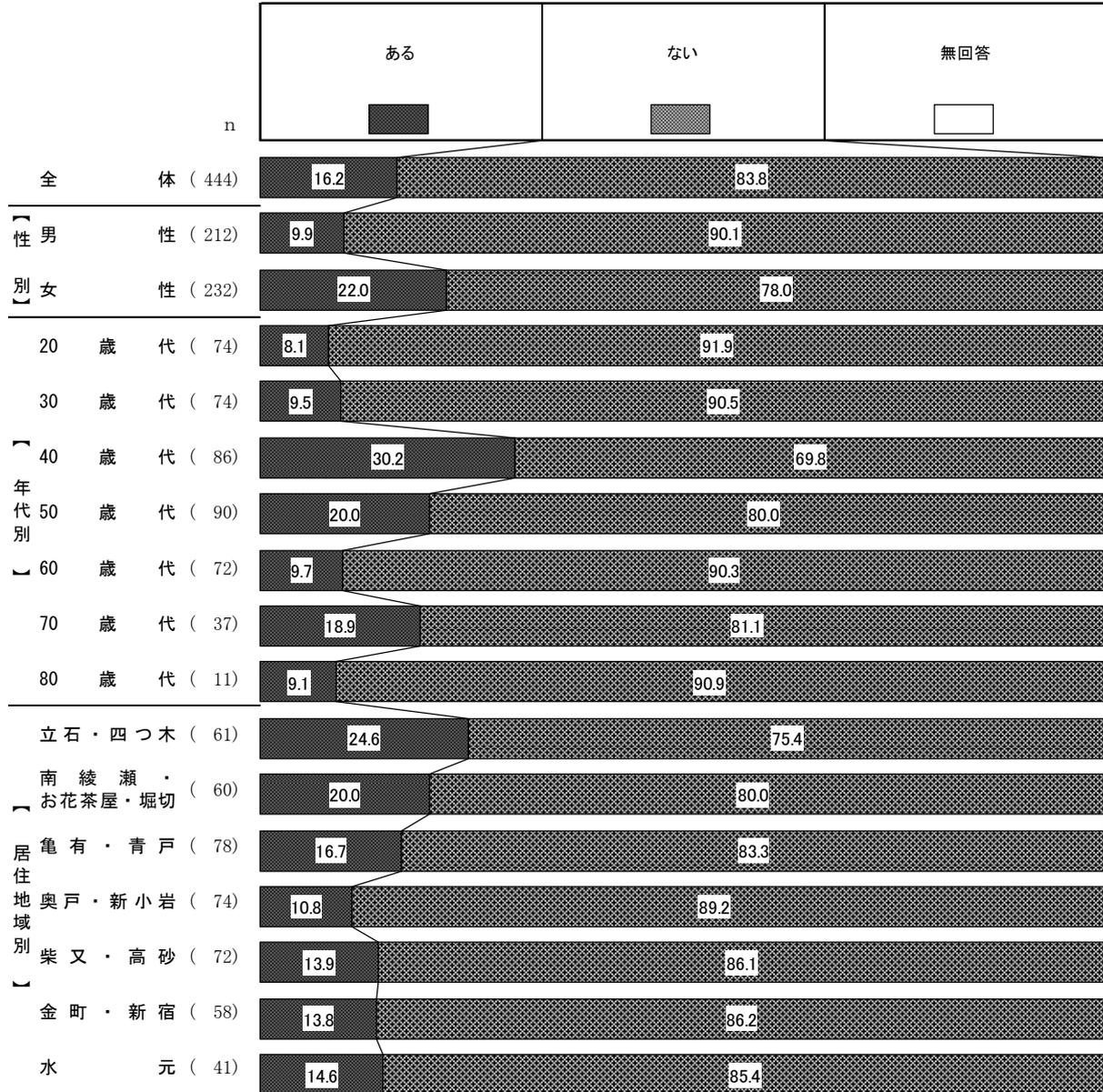
年代別でみると、「ある」は、40歳代で30.2%と高くなっている。一方、「ない」は、40歳代を除く全ての年代で8割以上となっている。

図表-47 かつしか郷土かるたの使用有無（全体）



図表-48 かつしか郷土かるたの使用有無
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



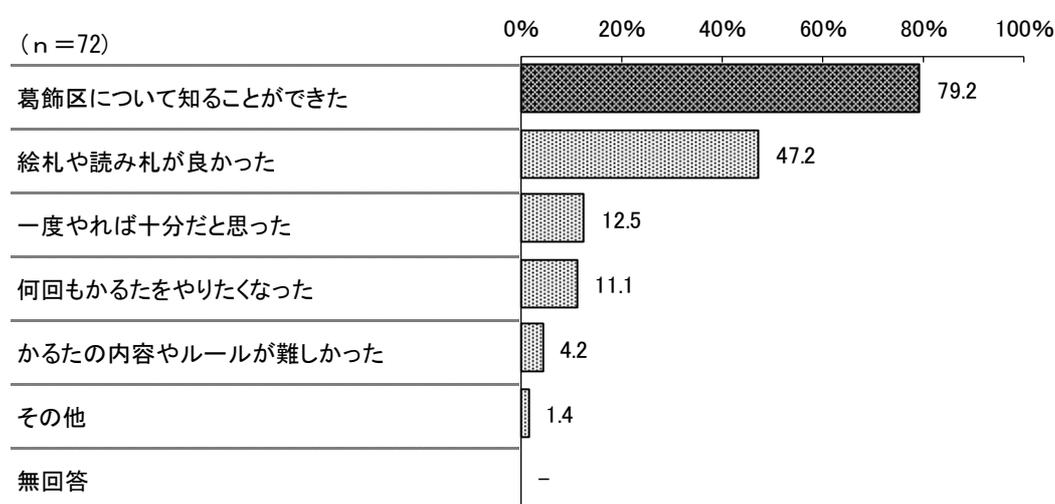
問26で「ある」と答えた方へお伺いします。

問27 使用してみたの感想を教えてください。(当てはまるものを全て選択)

かつしか郷土かるたを使用した感想については、「葛飾区について知ることができた」が79.2%で最も高く、次いで「絵札や読み札が良かった」が47.2%、「一度やれば十分だと思った」が12.5%となっている。

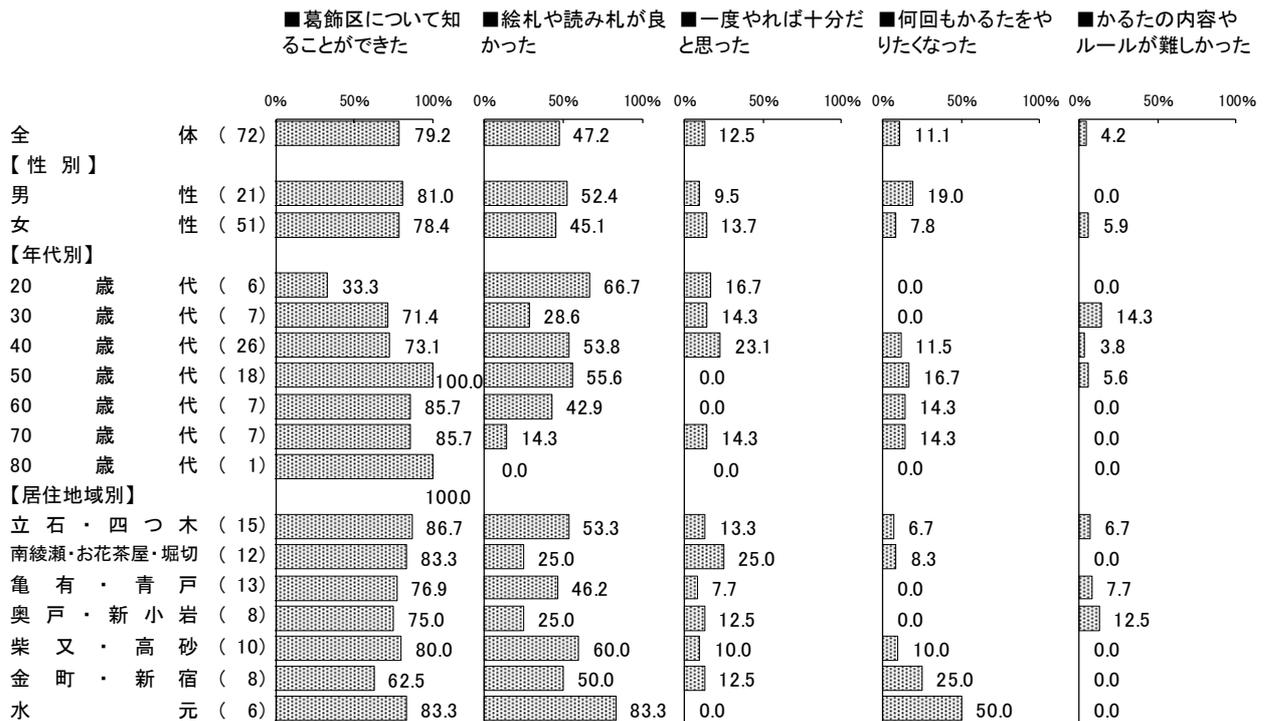
「その他」の内容としては、「色が明るいといい」がある。

図表-49 かつしか郷土かるたを使用した感想（全体）



年代別でみると、「葛飾区について知ることができた」は、20歳代を除く全ての年代で7割以上となっている。「絵札や読み札が良かった」は、20歳代と40歳代と50歳代で5割以上と高くなっている。「一度やれば十分だと思った」は、40歳代が23.1%で最も高くなっている。

図表-50 かつしか郷土かるたを使用した感想
(全体・性別・年代別・居住地域別)



■その他



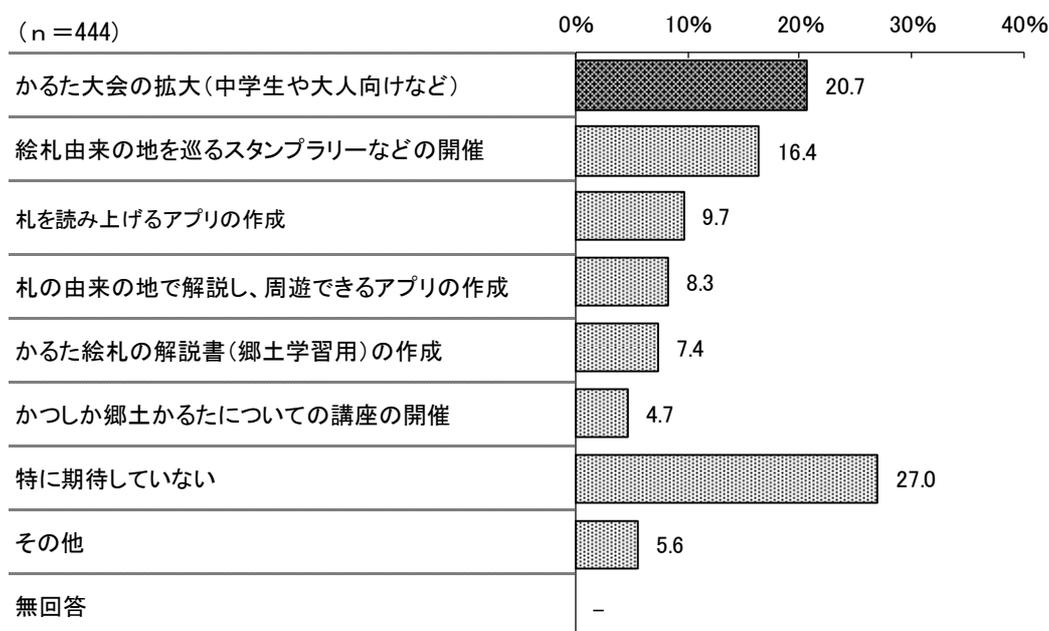
問 28 かつしか郷土かるたをさらに普及、活用していくため、区にどのような取組を期待しますか？（1つ選択）

区に期待する取組については、「かるた大会の拡大（中学生や大人向けなど）」が20.7%で最も高く、次いで「絵札由来の地を巡るスタンプラリーなどの開催」が16.4%となっている。一方、「特に期待していない」は、27.0%となっている。

年代別で見ると、「かるた大会の拡大（中学生や大人向けなど）」は、30歳代以下と50歳代で2割以上となっており、20歳代で29.7%と最も高くなっている。一方、「特に期待していない」は、80歳代を除く全ての年代で2割以上となっており、30歳代で35.1%と最も高くなっている。

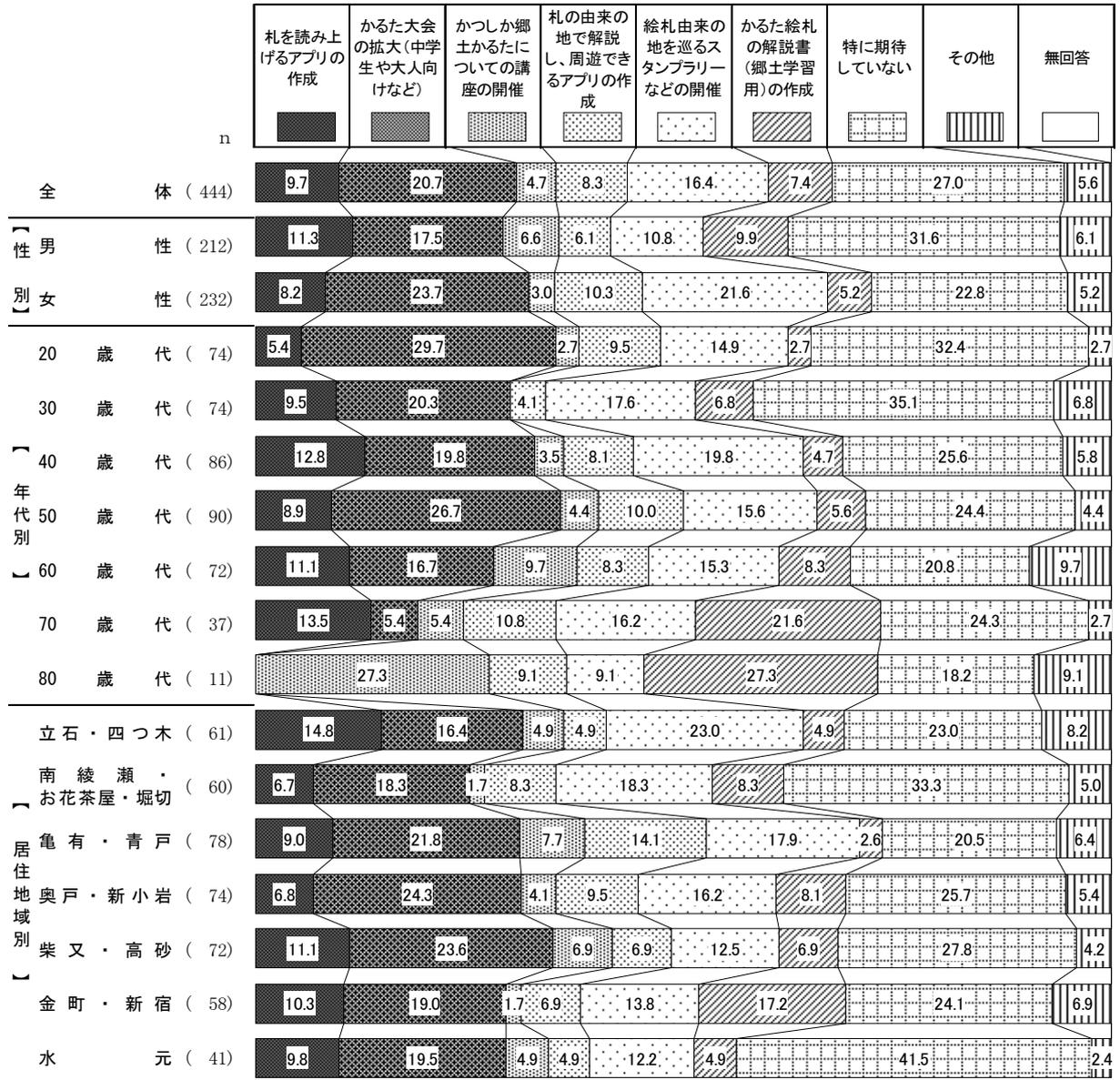
「その他」の内容としては、「Youtubeの活用」、「人が多く集まる場所での紹介」、「駅への展示」などがある。

図表-51 区に期待する取組（全体）



図表-52 区に期待する取組
(全体・性別・年代別・居住地域別)

(%)



問 29 「かつしか郷土かるた」についてご意見がございましたらご記入ください。

(自由記述)

(主なご意見)

- ・今回、初めて知ったので実物を見たい。
- ・新しく区に引っ越してきた人や、大人も知る機会があると良い。
- ・もっと商店街やいろいろなところで宣伝をし、広めたほうが良い。
- ・子どもと高齢者が一緒に楽しめる機会があれば良い。
- ・葛飾の歴史を学ぶには良いと思う。
- ・どこで購入できるのか知りたい。

【参考】 かつしか郷土かるたは、次の場所で販売しております。

- ・柴又観光案内所「下町や」
- ・伝統産業館
- ・郷土と天文の博物館
- ・中央図書館
- ・シニア活動支援センター
- ・区政情報コーナー（区役所3階304番）

令和5年度
葛飾区区民モニターアンケート調査報告書
第1回 ウェブモニター

令和5年（2023年）8月発行
葛飾区総務部すぐやる課すぐやる係
東京都葛飾区立石5-13-1
電話 03-3695-1111（代表）